

カンボジア国
女性省

カンボジア国
女性の経済的エンパワーメントのための
ジェンダー主流化プロジェクト

事業完了報告書

2023年1月

独立行政法人
国際協力機構(JICA)

アイ・シー・ネット株式会社
株式会社国際開発センター

ガ平
JR
23-001

対象地域



通貨換算率（2022 年 12 月）

US\$ 1 = ¥138.482000

KHR1 = ¥0.033820

(JICA 月次レート)

カンボジア国女性の経済的エンパワーメントのための
ジェンダー主流化プロジェクト

事業完了報告書

目 次

目次
略語表

1. プロジェクトの背景と目的.....	1
1.1. 対象国	1
1.2. プロジェクト名	1
1.3. プロジェクト実施期間	1
1.4. 背景	1
1.5. 上位目標及びプロジェクト目標	2
1.6. 実施体制	2
2. 業務の実績と成果.....	3
2.1. 業務の実績	3
2.1.1. 日本側の投入実績	3
2.1.2. カンボジア側の投入実績	4
2.1.3. 活動（当初計画と実績）	4
2.2. プロジェクトの成果	11
2.2.1. 成果に係る指標	13
2.2.2. プロジェクト目標に係る指標	15
2.3. PDM の変遷	16
2.3.1. 2020 年 1 月（添付資料 3-2 参照）	16
2.3.2. 2022 年 1 月（添付資料 3-3 参照）	22
2.4. その他	22

3. プロジェクトの評価.....	23
3.1. DAC 評価項目による評価結果	23
3.1.1. 妥当性	23
3.1.2. 整合性	25
3.1.3. 有効性	25
3.1.4. 効率性	26
3.1.5. インパクト.....	27
3.1.6. 持続性	27
3.2. 活動実施と成果達成に影響を及ぼした要因	28
3.3. プロジェクトのリスク管理	28
3.4. 教訓.....	29
3.5. COVID-19 対応として実施した活動/支援	30
4. 上位目標達成に向けた提言.....	31
4.1. 上位目標達成の見通し.....	31
4.2. 上位目標達成に向けた実施計画及び実施体制	32
4.3. 提言	33
4.4. プロジェクト終了時から事後評価に向けたモニタリング計画.....	33

添付資料

- 添付資料 1 業務の実績
- 添付資料 2 成果品一覧
- 添付資料 3 PDM
- 添付資料 4 RD、MM、JCC ミニッツ
- 添付資料 5 モニタリングシート (Monitoring Sheet)

略語表

略語	正式名	日本語
ADB	Asian Development Bank	アジア開発銀行
AIMS	Accelerating Inclusive Markets for Smallholders	小規模農家のための包括的市場の加速化
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations	東南アジア諸国連合
ASPIRE	Agricultural Service Programme for Innovation Resilience and Extension	イノベーションと拡張のための農業サービスプログラム
EDD	Economic Development Department	経済開発局
GBV	gender-based violence	ジェンダーに基づく暴力
GED	Gender Equality Department	ジェンダー平等局
GMAG	Gender Mainstreaming Action Group	ジェンダー主流化活動グループ
GMAP	Gender Mainstreaming Action Plan	ジェンダー主流化活動計画
IFAD	International Fund for Agricultural Development	国際農業開発基金
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
KCH	Kampong Chhnang	コンボンチュナン (州)
KPC	Kampong Cham	コンボンチャム (州)
KPT	Kampong Thom	コンボントム (州)
MAFF	Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries	農林水産省
MISTI	Ministry of Industry, Science, Technology & Innovation	産業・科学・技術・革新省
MOC	Ministry of Commerce	商業省
MOLVT	Ministry of Labour and Vocational Training	労働・職業訓練省
MORD	Ministry of Rural Development	農村開発省
MOT	Ministry of Tourism	観光省
MOU	Memorandum of Understanding	基本合意文書
MOWA	Ministry of Women's Affairs	女性省
NCDD	National Committee for Sub-National Democratic Development	民主的地方開発国家委員会
OVOP	One Village One Product	一村一品 (プロジェクト)
PDISTI	Provincial Department of Industry, Science, Technology & Innovation	州産業・科学・技術・革新局
PDWA	Provincial Department of Women's Affairs	州女性局
PGM	Projects on Gender Mainstreaming	ジェンダー主流化プロジェクト
PGM-WE	Project on Gender Mainstreaming for Women's Economic Empowerment	女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化プロジェクト
PSD	Planning and Statistics Department	計画・統計局
RGC	Royal Government of Cambodia	カンボジア王国政府
SRP	Siem Reap Province	シェムリアップ (州)
TBK	Tbong Khmum Province	トボンクモム (州)

TWG-G	Technical Working Group on Gender	ジェンダー技術作業部会
TWG-G WEE	Technical Working Group on Gender, Sub- Group on Women's Economic Empowerment	ジェンダー技術作業部会 WEE サブグループ
WCCC	Women's and Children's Consultative Committee	女性と子どもの諮問委員会
WEE	Women's Economic Empowerment	女性の経済的エンパワーメント
WEE-WG	Working Group for Women's Economic Empowerment	女性の経済的エンパワーメントのための ワーキンググループ

1. プロジェクトの背景と目的

1.1. 対象国

カンボジア王国

1.2. プロジェクト名

女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化プロジェクト

1.3. プロジェクト実施期間

2017 年 2 月～2022 年 12 月（5 年 10 カ月）

1.4. 背景

カンボジア政府は、国家開発戦略の四辺形戦略（Rectangular Strategy）や国家開発計画、ネアリ・ラタナク（Neary Rattanak）（女性省戦略 5 カ年計画）などの国家政策に基づいて、ジェンダー平等と女性のエンパワーメントを促進するためのプログラムやプロジェクトを実施している。1990 年代初頭から、女性省（Ministry of Women's Affairs: MOWA）と国際協力機構（JICA）は協力関係を築き、「ジェンダー主流化プロジェクト フェーズ 1」（PGM）と「同フェーズ 2」（PGM2）が実施された。

PGM2 は、2010 年に開始され、女性省（MOWA）及び州女性局（Provincial Department of Women's Affairs: PDWA）と関係省庁が実施するジェンダー視点に立った政策やプログラムを通して、女性の経済的エンパワーメント（Women's Economic Empowerment: WEE）が強化されるという上位目標に向けた取組が実施された。2015 年 2 月の同プロジェクト終了時評価では、中央政府及び州レベルにおいて関係省庁・局に対するアドボカシーや調整機能を果たす女性省及び州女性局の能力が強化されたと評価された。また、PGM1 で開発された PGM 手法（ジェンダー視点に立った事業実施管理手法）を適用し、コンポンチャム州（KPC）でパイロットプロジェクトを実施することによって、WEE 促進のためのジェンダー主流化を推進する能力とメカニズムが州レベルで強化されたことも明らかになった。さらに、コンポンチャム州の「3 カ年投資計画」が、PGM2 の活動の結果、よりジェンダー視点に配慮したものとなったことが評価された。加えて、PGM2 は、草の根レベルで以下のような社会経済的・ジェンダー的影響をもたらしたことが確認された。

- ・ 経済的影響：女性及び男性双方の世帯収入の増加と生活水準の向上
- ・ 社会的・ジェンダー的影響：家庭内のジェンダー関係の改善、夫婦間の調和の確立、ジェンダーに基づく暴力（Gender Based Violence: GBV）の減少、女性のエンパワーメント（女性の自信やリーダーシップの向上、家計管理（高額支出）に関する意思決定への参加、家族や地域社会の女性の能力に関する意識の向上など）

このように、ジェンダー主流化を推進するためのツールである PGM 手法に基づいて実施された PGM2 は、中央政府及び州レベルにおけるジェンダー主流化の促進に貢献したことが評価された。そうした成果をふまえて、2014 年 8 月、カンボジア政府は日本政府に対し、既存のジェンダー主流化メカニズムを強化し、より広い地域に普及・展開するための技術支援を要請した。

1.5. 上位目標及びプロジェクト目標

本プロジェクトの上位目標とプロジェクト目標は以下のとおりである。

上位目標	対象州および非対象州において、女性省/局のアドボカシー・調整を通じて、連携省庁/局によるジェンダー視点に立った施策や事業が実施されることにより、女性の経済的エンパワーメント（WEE）が促進される。
プロジェクト目標	女性省/局によるアドボカシーおよび調整を通じて、連携省庁/局がサブナショナルレベルの WEE を推進するためのジェンダー主流化メカニズムが強化される。

1.6. 実施体制

カンボジアの実施体制は以下のとおりである。

プロジェクト責任機関	女性省（MOWA）
プロジェクト・ディレクター	長官（H. E. Chan Sorey）
プロジェクト・マネージャー	計画・統計局長（Ms. Vouchlim Te）
カウンターパート（C/P）	計画・統計局、経済開発局、ジェンダー平等局
連携省庁	農林水産省（MAFF）、商業省（MOC）、産業・科学・技術・革新省（MISTI）、労働・職業訓練省（MOLVT）、農村開発省（MORD）、観光省（MOT）、民主的地方開発国家委員会（NCDD）
対象州	コンポンチャム（KPC）州、コンポンチュナン（KCH）州、コンポントム（KPT）州、シェムリアップ（SRP）州、トボンクモム（TBK）州の 5 州
連携州局	女性局（PDWA）、農林水産局（PDAFF）、商業局（PDOC）、産業・科学・技術・革新局（PDISTI）、労働・職業訓練局（PDLVT）、農村開発局（PDRD）、観光局（PDOT）、計画局（PDOP）

2. 業務の実績と成果

2.1. 業務の実績

2.1.1. 日本側の投入実績

(1) 専門家派遣

専門家の派遣実績を下表に示す。

表 2-1-1 専門家派遣実績

担当	現地人月	国内人月	合計
総括/ジェンダー主流化 1	8.72	7.70	16.42
副総括/ジェンダー主流化 2	4.73	4.25	8.98
組織強化/ガバナンス	7.10	5.20	12.30
女性の経済的エンパワーメント	9.30	6.50	15.80
市場ビジネス開発	7.73	6.85	14.58
研修管理	0.50	0.70	1.20
モニタリング	0.47	0.35	0.82
業務調整/ジェンダー成果分析	7.40	6.60	14.00
合計	45.95	38.15	84.10

(2) 機材調達

プロジェクト活動の実施に必要な機材を添付資料 1-5-1 のとおり調達した。

(3) 本邦研修の実施

2020 年度と 2021 年度に本邦研修を予定していたが、2020 年 3 月以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による渡航制限のため、カンボジア国内でのリトリートプログラム（2022 年 7 月実施）に変更して実施した。

(4) 現地活動費

現地活動費（一般業務費、機材費、在外事業強化費）は以下のとおり。

表 2-1-2 現地活動費実績

費目	金額
一般業務費	137,869 千円
機材費	1,262 千円
在外事業強化費	17,000 千円

2.1.2. カンボジア側の投入実績

(1) カウンターパートの配置

プロジェクト実施期間を通じて、プロジェクト・ディレクターとして女性省長官、プロジェクト・マネージャーとして同省計画・統計局長が配置された。その他、対象州におけるパイロット活動実施のためのフォーカル・ポイントとして、女性省の計画・統計局、ジェンダー平等局、経済開発局からそれぞれカウンターパート（C/P）が配置された（詳細は添付 1-2、1-3 を参照）。

(2) 執務室の提供

女性省やコンポンチュナン州（KCH）とシェムリアップ州（SRP）の女性局から、プロジェクトに執務室が提供された。2019 年末からパイロット活動を開始したコンポントム州（KPT）とトボンクモム州（TBK）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主な活動は遠隔で行ったため、同 2 州に執務室の設置は行わなかった。コンポンチャム（KPC）州についても、パイロット活動を実施しないため（先行フェーズのパイロット活動のフォローアップのみ）、執務室の設置は行わなかった。

2.1.3. 活動（当初計画と実績）

プロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）と活動計画（PO）に示された当初計画に対する活動実績を下表にまとめる（PDM は添付資料 3、PO は添付資料 5 を参照）。

表 2-1-3 当初計画と実績

PDM・PO 記載の活動	実績
成果 1：サブナショナルレベルにおいて WEE を促進するための女性省/局のアドボカシーおよび調整に関する能力が強化される。	
[1-1]ジェンダー能力アセスメントが実施される。	[1-1] 2020 年 1 月と 2022 年 7 月にジェンダー能力アセスメントを実施した。
[1-2]アセスメントの結果に基づき、WEE に関する能力強化計画が作成される。	[1-2] アセスメントの結果に基づき、女性省と女性局の能力開発の内容を計画した。
[1-3]WEE を促進するための女性省/局のアドボカシー・調整に関する能力強化に向けた一連の研修等が計画・実施される。	[1-3] 1-2 の内容に基づき、ジェンダー合同研修（2020 年 1 月実施）やリトリートプログラム（2022 年 7 月実施）のほか、連携省庁とのやり取りや州レベルでのパイロット活動を女性省・局が主導できるようになるための技術ミーティング（添付資料 1-6 で整理した WS や研修の前に実施）など、一連のワークショップ及び研修が実施された。
[1-4]「ジェンダー用語集」が改訂される。	[1-4] ジェンダー用語集の最終版が 2022 年 11 月末に女性省で承認された。しかし、印刷・配
[1-5]「ジェンダー統計リーフレット」が改訂	

される。 [1-6]「州ジェンダー統計」が各地方対象州で作成される。	布については、同時期に策定作業が進んでいたジェンダー平等政策とジェンダー・アセスメント報告書（閣議決定が必要な文書）と併せて印刷・配布することが望ましいという大臣の命令により、同文書の最終承認を待っていたが、プロジェクト期間終了までに閣議決定には至らなかった。今後の閣議決定の見込みも不明である。女性省として必要な予算を確保し、承認後すぐに印刷を行うことが期待される。 [1-5] 2021 年 12 月にジェンダー統計リーフレットが改訂された。 [1-6] 州別ジェンダー統計が KCH 州（2021 年 6 月）、KPT 州（2020 年 7 月）、SRP 州（2022 年 12 月）、TBK 州（2020 年 5 月）でそれぞれ作成されたほか、KPC 州（2022 年 12 月）では更新された。
[1-7]サブナショナルレベルでのパイロット活動の開始時に「ジェンダー視点に立ったバリューチェーン分析手法」が開発され、「州レベルにおける女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化ガイドライン」（改訂版 WEE ガイドライン）にまとめられる。	[1-7] ジェンダー視点に立ったバリューチェーン分析手法を開発・改訂し、KPT 州、TBK 州、SRP 州の各州パイロット活動に適用した。同手法の概要を改訂版 WEE ガイドラインにも取りまとめた。
[1-8]サブナショナルレベルのパイロット活動を通じて、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価（政策ベース）に関する技術的助言（WEE 該当箇所に限る）が、女性省/局から連携省庁/局へ提供される。	[1-8] 州レベルのパイロット活動を通じて、連携局に対するジェンダー視点に立ったモニタリングにかかる技術的助言を行った。連携省庁については政策ベースのモニタリング・評価を限定的に実施している現状をふまえ、2022 年 11 月連携省庁のジェンダー主流化活動グループ（GMAG）メンバーを対象とした会議を通じ、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価（政策ベース）の基本概念を共有し、今後取り組むべき課題等について議論を促進した。
[1-9]ジェンダー主流化と WEE に関する本邦研修が実施される。	[1-9] 新型コロナウイルス感染症拡大による渡航制限の影響により、取り止め（2022 年 7 月にカンボジア国内（シアヌークビル）で実施したリトリートにおいて、ジェンダー主流化と WEE に関する能力強化の機会として代

	替実施)。
[1-10]ジェンダー能力アセスメント(事後)が実施される。	[1-10]2022年12月上旬に女性省と州女性局のジェンダー能力アセスメントを実施した。
成果2:パイロット活動を通じて、WEEを促進するための実施体制・手法の有効性が、女性省/局および連携省庁/局により検証される。	
[2-1]コンポンチャム州において、PGM2で実施した養鶏に係るパイロット活動のモニタリングとフォローアップ活動が実施される。	[2-1]第1期活動として、KPCにおける養鶏活動のモニタリングとフォローアップ活動を実施した。
[2-2]コンポンチュナン州において、女性局と連携局が、WEEを促進するための農業/養鶏に関する活動をパイロット活動として計画・実施・モニタリングし、抽出された成果や教訓がWEE-WGにおいて共有される。	[2-2]農業/養鶏に関する活動を、2018年12月から2020年2月まで、KCH州の女性局と連携局が計画、実施、モニタリングし、抽出された成果や教訓がWEE-WGにおいて共有された。(活動の概要は添付資料1-6-3を参照。)
[2-3]シェムリアップ州において、女性局と連携局がWEEを促進するための観光業に関する活動をパイロット活動として計画・実施・モニタリングし、抽出された成果や教訓がWEE-WGにおいて共有される。	[2-3]2019年5月から2022年10月まで、SRP州において、観光分野におけるWEE推進のための一連のビジネス研修とフォローアップ活動を計画・実施・モニタリングし、抽出された成果や教訓がWEE-WGにおいて共有された。(活動の概要は添付資料1-6-2を参照。)
[2-4]トボンクモム州とコンポントム州において、女性局と連携局が農業と手工芸の分野で活動する女性及び女性グループを支援する既存の事業(経済活動)にジェンダーの視点を組み込み、その成果や教訓、経験をWEE-WGで共有する。	[2-4]2021年12月から2022年9月まで、KPT州とTBK州の女性局と連携局が、農業と手工芸における農村女性の既存の経済活動を、ジェンダーの視点とWEEの側面に焦点を当てて強化・支援し、その成果や教訓、経験がWEE-WGで共有された。(活動の概要は添付資料1-6-4、1-6-5を参照。)
[2-5]コンポンチャム州とコンポンチュナン州において、女性局と連携局が農業分野で活動する女性や女性グループを取り巻く状況分析を行い、ニーズを特定し、経済活動により活発に参画するための効果的な支援について検討するとともに、その成果や学びをWEE-WGで共有する。	[2-5]2021年11月から2022年8月にかけて、KPC州とKCH州において、女性局と連携局が農業分野で活動する女性や女性グループを取り巻く状況分析を行い、ニーズを特定し、経済活動により活発に参画するための効果的な支援について検討するとともに、その成果や学びがWEE-WGで共有された。(活動の概要は添付資料1-6-3、1-6-6を参照。)
[2-6]シェムリアップ州において、女性局と連携局が観光分野で活動する女性や女性グループを取り巻く状況分析を行い、ニーズを特定し、経済活動により活発に参画するための効果的な支援について検討するとともに、その	[2-6]活動2-3に続き、観光産業に従事する農村女性のジェンダー課題とニーズを把握するため、ジェンダー分析を行った。その上で、女性たちの生計向上に向けた効果的な施策を立案し、SRP州でのパイロット活動として実施

成果や学びを WEE-WG で共有する。	した。(活動の概要は添付資料 1-6-2 を参照。)
[2-7]2-2～2-6 の活動に基づき、サブナショナルレベルで WEE を促進するための既存の仕組みに基づいた実施体制・手法が改訂版 WEE ガイドラインにまとめられる。	[2-7] 改訂版 WEE ガイドラインが取りまとめられ、女性省に承認された。
成果 3：女性省/局との活発な議論を通じて、ジェンダー視点に立った政策の立案・実施のための提言（助言や教訓）が、連携省庁/局および NCDD ジェンダーチームによって認知の上、受け入れられる。	
[3-1]女性省との調整・協力の上、プロジェクト活動が「第 5 次ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国家戦略計画 2019-2023」（ネアリ・ラタナク 5）と民主的な地方開発委員会（NCDD）の「民主的な地方開発のためのジェンダー平等推進政策」の活動計画に組み込まれる。	[3-1]ネアリ・ラタナク 5 のアクションプランに、PGM-WEE の関連する活動を統合した。「民主的な地方開発のためのジェンダー平等推進政策」の活動計画については、EU などのドナーによる支援が停止されていることに起因する NCDD の予算不足により、プロジェクト期間中にプロジェクト活動と関連性の高い活動実施は行われなかった。
[3-2]ジェンダー技術作業部会の WEE サブグループ（TWG-G-WEE）やジェンダー主流化活動グループ（GMAG）を通じて、女性省はプロジェクトのパイロット活動の進捗、成果、経験、教訓等を連携省庁と共有し、サブナショナルレベルで WEE を促進するためのアドボカシーを行う。	[3-2] 州レベルにおける WEE 促進のための連携省庁に対するアドボカシーとして、2022 年 10 月に実施された TWG-G-WEE 会合や、2022 年 11 月に実施した GMAG メンバーとの協議を通じて、パイロット活動の成果や経験、教訓等を共有した。
[3-3]サブナショナルレベルで WEE を促進するための提言が女性省 C/P により議論され、取りまとめられる。	[3-3] 2022 年 7 月に実施したリトリートプログラムで、州レベルでの WEE を推進するための提言が、関係者の議論をふまえて取りまとめられた。
[3-4]取りまとめられた提言が TWG-G WEE 及び GMAG の会合で共有される。	[3-4] 2022 年 10 月に開催された TWG-G WEE および 2022 年 11 月に開催された GMAG メンバーとの協議を通じ、州レベルにおける WEE 推進の具体的方法が共有・議論された。
[3-5]共有された提言をセクター計画、年間計画、連携省庁の行動計画、NCDD の「民主的な地方開発のためのジェンダー平等推進政策」の行動計画に反映するため、女性省 C/P が連携省庁及び NCDD ジェンダーチーム（女性省のジェンダー平等局と NCDD から構成される）と活発に議論し、調整する。	[3-5] 2022 年 2 月以降、NCDD ジェンダーチームと、PGM-WEE の経験を NCDD ジェンダー政策の計画にどのように統合していくかについて、一連の議論を行った。議論の結果、パイロット活動から得られた成果と教訓は、「民主的な地方開発のためのジェンダー平等推進政策」との親和性が高く、有効であるため、今後策定する戦略計画に取り込んでいくことが合

	意された。
[3-6]女性省 CP と協力の下、活動 3-4 で承認される提言、活動 2-7 で取りまとめられる改訂版 WEE ガイドライン、プロジェクト活動から導き出された成果や教訓を、連携省庁と広く共有するための成果発表ワークショップが開催される。	[3-6] 2022 年 12 月に経験共有ワークショップを実施し、州レベルで WEE を推進するための具体的方法や経験を共有し、改訂版 WEE ガイドラインに取りまとめた。
[3-7]東南アジア諸国連合（ASEAN）各国とプロジェクトの成果や好事例、教訓を共有し、情報交換を行うための地域セミナーを実施する。	[3-7] 2022 年 10-11 月に ASEAN 関連のフォーラムや会議が複数予定され、女性省による追加の会議開催が難しいことが判明した。そのため、活動 3-7 に代えて経験共有ワークショップ（活動 3-6）の内容・参加者を増やして実施することにより、プロジェクトの成果や教訓を幅広くカンボジア国内に普及させた。

以下に、女性省と州女性局のジェンダー能力アセスメントの実施（成果 1-1、1-10）について、詳細をまとめる。

女性省と州女性局のジェンダー能力アセスメントは、2020 年 1 月の PDM 改訂によって、成果 1 で強化する能力の内容と測定方法を明確にすることを目的として追加された活動であり、プロジェクト開始時点でアセスメントは行っていないことから、元々プロジェクトの実施前後での比較を想定したものではない。さらに、特に女性省のフォーカル・ポイントは先行フェーズの PGM2 から関わっている者から、実務経験もほとんどない若手まで多様であり、その能力を一律に比較することが困難であること、またアセスメントの設計にあたり、女性省幹部が省職員個人の能力の優劣が明らかになることについて難色を示したことから、（従事開始時期は各自異なることを前提に）プロジェクト活動に従事した前後で自身の能力がどのように変化したかについて、フォーカル・ポイント自身が自己評価を行った結果を比較分析する形でアセスメントを実施することとした。

アセスメントの内容については、強化する能力を「基礎知識」、「ジェンダー分析」、「ジェンダー視点に立った計画策定」、「ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価」、「ジェンダー・アドボカシー」の 5 つの要素に分類し、要素ごとに強化を図る能力を定義した（表 2-1-4 参照）。なお、特に女性省のフォーカル・ポイントは、所属する計画・統計局、ジェンダー平等局、経済開発局の本来業務との関連性を考慮した形で能力強化を図ることが望ましいが、女性省幹部の意向により、プロジェクト活動では業務所掌による分担は行わず、総合的なジェンダー能力強化を行うこととした。なお、基礎知識とジェンダー分析は各局共通で重要な要素であるが、本来業務との関連性を考慮すると、計画・統計局はジェンダー統計とジェンダーの視点に立った計画策定、ジェンダー平等局はジェンダー視点に立ったモニタリング・評価とジェンダー・アドボカシー、経済開発局は女性の経済的エンパワーメントの促進にかかる事業の実施に関する能力強化がより必要となる。

アセスメントは、各要素の評価項目ごとに、5 段階評価で能力を自己評価する質問票を配布し、プロジェクト活動従事前と 2022 年 12 月 1 日時点と比較する形で行った。回答者数

は女性省 14 名、州女性局は KPC 州 6 名、KCH 州 3 名、KPT 州 5 名、SRP 州 2 名、TBK 州 4 名の計 20 名であった。

表 2-1-4 ジェンダー能力アセスメントの評価項目

5つの要素	評価項目
1.基礎知識	1-1 ジェンダーのコンセプト理解 1-2 WEE のコンセプト理解 1-3 州レベルにおけるジェンダー主流化の重要性の理解 1-4 既存の計画や活動におけるジェンダー主流化に対する意欲 1-5 ジェンダー視点に立った事業実施管理の理解
2.ジェンダー分析	2-1 性別データの収集・分析 2-2 農村女性の状況や直面している課題の理解 2-3 ジェンダー分析にかかる知識とスキル（ジェンダー課題の特定） 2-4 女性の状況を把握するためのジェンダー分析の重要性の理解 2-5 計画の前段階で女性の活動参加の阻害要因を特定するためのジェンダー分析の経験
3.ジェンダー視点に立った計画立案	3-1 ジェンダー視点に立った計画立案の重要性 3-2 農村女性の生計向上プロセスの理解 3-3 ジェンダー平等と WEE の実現を目指す計画策定の重要性の理解 3-4 女性のアクセス、参加、便益を促すための取組に関するアイデア 3-5 女性のアクセス、参加、便益を測る指標設定の知識とスキル
4.ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価	4-1 ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価の重要性の理解 4-2 ジェンダー視点に立ったモニタリング項目の理解 4-3 女性のアクセス、参加、便益の阻害要因をモニタリングするための知識とスキル 4-4 女性の活動への阻害要因やジェンダー課題に取り組む手段に関するアイデア 4-5 女性の収入向上活動がもたらすジェンダー平等や WEE に関するインパクトに関するアイデア
5.ジェンダー・アドボカシー	5-1 ジェンダー・アドボカシーに関する女性省・州女性局の役割の重要性の理解 5-2 ジェンダー・アドボカシーの目的の理解 5-3 ジェンダー・アドボカシーの対象やアプローチの多様性の理解 5-4 省庁や州局に対して、ジェンダー平等や WEE に関するアドボカシーを行うための知識とスキル 5-5 ジェンダー・アドボカシーに期待される成果に関するアイデア

女性省・局の能力強化のためにプロジェクトが行った介入として、まずは両者が一定レベルかつ共通のジェンダー平等やWEEに関する基礎知識を有することができるように合同ジェンダー研修（2020年1月）を行ったほか、パイロット活動の成果の共有およびジェンダー視点に立った事業管理マネジメントの概要を総括するためのリトリート・プログラム（2022年7月）を実施した。なお、これらの研修やプログラムの対象には連携省庁・局も含めているが、あくまでも女性省・局が今後連携省庁・局に対して効果的にジェンダー主流化のためのアドボカシー・調整を行うことができるようになるための能力強化の機会として、講義やグループワークなどは今後全て女性省・局が日常業務の中で活用・応用できるような内容とした。さらに、パイロット活動の実施にあたり、女性省フォーカル・ポイントが州およびコミュニティレベルでの活動を技術的に側面支援し、州女性局職員がコミュニティレベルでの活動を主導できるように、トピックごとに中央および州レベルにおける技術ミーティングを行い、それぞれの活動内容の確認とジェンダー視点の整理を行った。こうした働きかけにより、特にコミュニティレベルでのパイロット活動の実施がより女性省・局職員にとってのOJTの場として有効に機能したといえる。特に女性省フォーカル・ポイントに対しては、パイロット活動に対するオーナーシップを高めるため、日本人専門家が作成した活動内容案や研修で使う発表資料などを共有し、事前に十分に議論してから州・コミュニティレベルでの活動を開始するように心がけた。また、コミュニティレベルの活動については、州女性局職員を中心に、女性たちが理解しやすいような教材作成やファシリテーションを積極的に行い、活動後の振り返りを通じて、プロジェクト専門家や女性省フォーカル・ポイントがよかった点と改善すべき点を伝え、継続的に内容の改善が図られた。

図2-1-1は、女性省フォーカル・ポイントのアセスメント結果をまとめたものである。5つの要素ともに、活動従事前と比べて能力が強化されたと評価していることが分かる。具体的には、プロジェクト終了時に最も高い結果となった要素は「ジェンダー視点に立った計画立案」（平均3.38ポイント）であったが、これはその後の実施やモニタリング・評価にも大きく関わる重要な要素であることから、パイロット活動の中でも一定の時間をかけて理解の促進や知識・スキルの習得を図ったことが寄与したものと考えられる。また、プロジェクト終了時のポイントが活動従事前と比較して最も高かった要素は「ジェンダー・アドボカシー」であったが（1.42ポイント）、これはジェンダー・アドボカシーがジェンダー主流化全般に関する助言・啓発を目的とすることから、アドボカシーそのものの技術やスキルだけでなく、ジェンダーや女性のエンパワーメントに関する基礎知識や「ジェンダー視点に立った計画立案」などの他の要素をしっかりと理解していることが不可欠であり、プロジェクトによりそれらの理解が高まったことから、以前と比べてアドボカシーに対する苦手意識が払拭されつつあることが考えられる。

一方、基礎知識とジェンダー分析の達成度が相対的に低かった（終了時でそれぞれ平均1.16ポイント、1.18ポイント）。その理由としては、基礎知識については元々フォーカル・ポイントが一定の知識を有していたこと、ジェンダー分析については実践を通じて農村女性の状況や直面している課題を把握・特定するために極めて重要なステップであると同時に、その実践にはよりスキルと経験を要するということへの理解が深まったことによるものと想定される。特にジェンダー分析は、先行フェーズを含めてあまり実践されておらず、

これまでは計画策定が行政官の持っている情報や想定にのみ基づいて行われる傾向にあったことを考えると、その重要性和分析に用いるツールを関係者が一定程度習得したことの意義は高いといえる。

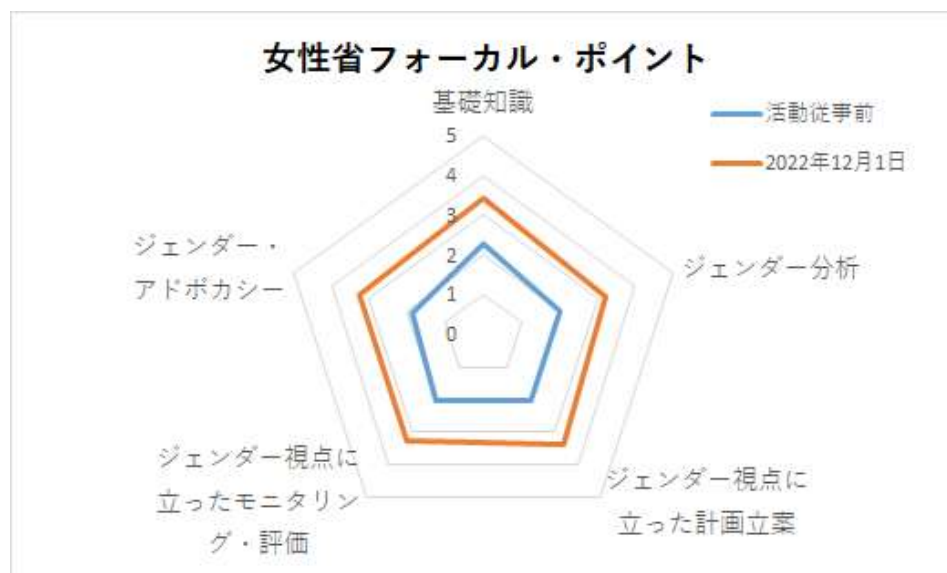


図 2-1-1 女性省フォーカル・ポイントのアセスメント結果

図 2-1-2 は、対象 5 州の女性局のアセスメント結果をまとめたものである。女性省と同様、5 つの要素ともに、活動従事前と比べて能力が強化されたと評価しているが、そのポイントは活動従事前、プロジェクト終了時ともに女性省フォーカル・ポイントより高い。こうした傾向は、女性省フォーカル・ポイントが控えめに点数を付けたことに起因していると考えられる一方で、州女性局職員は日頃からより現場に近い活動に従事し、その中で実践的な知識やスキルを活用していることとも関連していると思われる。

また、女性省の結果と異なる点は、プロジェクト終了時に最も高い結果となった要素が基礎知識（平均 3.91 ポイント）であった点だが、これは州女性局がこれまで実施してきたジェンダー研修の内容が性別とジェンダーの違いなど、関連するジェンダー用語の定義の説明のみにとどまり、WEE に関するコンセプトのほか、既存の計画や活動のジェンダー主流化や取り込むべきジェンダー視点についての理解度は低かったことが考えられる。そのことは、基礎知識のプロジェクト終了時のポイントが活動従事前と比較して最も高かった要素となっている（1.34 ポイント）ことから分かる。一方、活動従事前とプロジェクト終了のポイントの差が最も少なかったのはジェンダー・アドボカシー（1.09 ポイント）であった点も女性省の結果とは異なる。



図 2-1-2 州女性局のアセスメント結果

アセスメントの総論として、特にジェンダー分析、ジェンダー視点に立った計画立案、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価については、女性省フォーカル・ポイントの所属する部署によっては本来業務との関連性が低くなる点や、女性省と州女性局共にほとんどの職員がジェンダーに関するバックグラウンド（大学での専攻等）を有していないほか、事業経験も十分でない職員が多いことから、プロジェクトによる能力強化の結果、自分自身の知識やスキルを本来業務の中で十分に活用できるレベルに達した CPs がいる一方で、一定の知識やスキルは習得したものの、そもそも本来業務との関連性がない、あるいはあったとしても自分だけで業務を実施する権限が与えられていない、自信がないといった状況にある CPs も一定数いるため、本プロジェクトによる能力強化の度合いを測ることそのものには限界がある。しかしながら、本プロジェクトを通じてどのような能力強化を図ることを目指しているのかについて、女性省と州女性局の職員当人と女性省幹部、また日本人専門家が共通認識を持ち、また終了時に本人の自己評価によりどこまで達成できたかを振り返る機会としては有効であった。

2.2. プロジェクトの成果

2.2.1. 成果に係る指標

PDM に基づく本プロジェクトの成果達成状況を表 2-1-5 にまとめる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特にコミュニティレベルでの活動が制限されたが、全ての指標において「達成」または「達成が見込まれる」と評価される。

表 2-1-5 成果達成状況

指標	達成状況
成果 1: サブナショナルレベルにおいて WEE を促進するための女性省/局のアドボカシーおよび調整に関する能力が強化される。	
1. 女性省/局のアドボカシーや調整能力（ジェンダー・キャパシティ・アセスメントで定義）が強化される。	【達成】2022 年 7 月のリトリートプログラム終了後に行った中間評価では、対象 5 県における女性省/局の C/P の能力が、ジェンダー視点を取り入れたプロジェクトマネジメントのあらゆる側面（現況把握・課題分析、計画、実施、モニタリング・評価）で強化されたことが確認された。 2022 年 12 月上旬に実施した最終アセスメントの結果によると、女性省と州女性局の職員によるジェンダー主流化の推進に必要な 5 つの要素全てに関する能力が強化されたことが分かった。
成果 2: パイロット活動を通じて、WEE を促進するための実施体制・手法の有効性が、女性省/局および連携省庁/局により検証される。	
1. 女性省/局のカウンターパート及び連携局が、サブナショナルレベルでの WEE 推進のための実施ツールを習得する。	【達成】WEE 推進のための主要な実施ツールは、技術研修（パイロット活動実施前の ToT 研修）、対象村での実地研修、また補足研修（合同ジェンダー研修、リトリートプログラム、ジェンダー主流化ワークショップなど）を通じて、女性省/局と連携州当局の C/P によって習得された。
2. プロジェクトの中で設置した WEE-WG の機能が制度化され、改訂版 WEE ガイドラインに盛り込まれる。	【達成】対象 5 州の WEE-WG メンバー間の議論に基づき、WEE-WG の機能が KCH 州、KPC 州、KPT 州、TBK 州の各州において「女性と子どもの諮問委員会」（WCCC）下、SRP については州行政体の下で制度化することが、各州知事によって承認される見込み。WEE-WG の機能も WEE ガイドラインに反映済み。
成果 3: 女性省/局との活発な議論を通じて、ジェンダー視点に立った政策の立案・実施のための提言（助言や教訓）が、連携省庁/局および NCDD ジェンダーチームによって認知される。	
1. プロジェクトの提言（助言や教訓）が、連携省庁/局及び NCDD ジェンダーチームによって把握される。	【達成】女性省が取りまとめたプロジェクトの提言は、2022 年 7 月のリトリートプログラムにおいて、連携省庁/局、NCDD ジェンダーチームによって承認された。また、2022 年 11 月に実施した連携省庁の GMAG メンバーとの協議を通じて、プロジェクトのパイロット活動を通じて得られた助言や教訓を、WEE 促進に資する既存の事業や活動において活用することの重要性が確認された。NCDD ジェンダーチームについても、プロジェクトの成果や教訓は、NCDD のジェンダー政策が推進する州レベルのジェンダー平等とジェンダー主流化に沿ったものであり、今後の政策実施にも貢献するものであることが認知された。

2.2.2. プロジェクト目標に係る指標

PDM に基づく本プロジェクトの成果達成状況を下表に示す。

表 2-1-6 プロジェクト目標達成状況

指標	達成状況
プロジェクト目標：女性省/局によるアドボカシーおよび調整を通じて、連携省庁/局がサブナショナルレベルの WEE を推進するためのジェンダー主流化メカニズムが強化される。	
1. 女性省/局が、連携省庁/局に対して、ジェンダー視点に立った事業の計画・実施にかかるアドボカシーと調整を行う。	【達成】2022 年 7 月に実施されたリトリートプログラムや各州で開催されたジェンダー主流化ワークショップを通じて、女性省/局のファシリテーションにより、既存のプログラムやプロジェクトにジェンダーや WEE の側面を入れ込むための実践的な方法と必要性が、連携省庁・局によって明確に認識された。また、女性局及び連携局が、既存のプロジェクトや活動、例えば IFAD/MAFF の支援による「小規模農家のための包括的市場の加速化 (AIMS) プロジェクト」や、「イノベーションと拡張のための農業サービスプログラム」(ASPIRE)、産業・科学・技術・革新局 (PDISTI) の「一村一品 (OVOP) プロジェクト」に、ジェンダー視点または WEE 視点を取り入れるための議論や調整を始めている。プロジェクトの成果や教訓は、2022 年 10 月に行われた TWG-G WEE においても共有された。
2. 全ての対象州において、州女性局と州連携局が、WEE を促進するためのジェンダー視点に立った事業について議論・モニタリングをする場として WCCC が機能する。	【未達成（ただし、近い将来に達成の見込み）】各対象州における WEE-WG の制度化に関する議論に基づき、WEE-WG を機能させていくために必要な手段（WG のメンバーの追加や予算取りなど）を WCCC 議長あるいは副知事のリーダーシップと州女性局の調整により講じることが、州知事によって承認された。2022 年 12 月の第 6 回合同調整委員会 (JCC) において、各州より WEE-WG を既存の仕組みに内製化し、機能を存続させる方針が正式に表明された。具体的には、SRP 州以外の 4 州は既存の WCCC、SRP 州は州行政体の下にそれぞれ WEE-WG の機能をおくことが州知事によって承認されている。
3. 改訂版 WEE ガイドラインが女性省に承認される。	【達成】2023 年 1 月、改訂版 WEE ガイドラインが女性省長官によって承認された。
4. 連携省庁と NCDD ジェンダーチームが、WEE を促進するための実施ツールや提言の少なくとも一つを、既存の事業や活動	【一部達成（ただし、プロジェクト終了時点で適用していない連携省庁と NCDD についても今後の適用に同意済み）】 農業省や商業省は、所管の州局が国際農業開発基金

において適用する。	(IFAD) やアジア開発銀行 (ADB) などの他ドナー支援による事業にジェンダー研修の実施ツールを取り込もうとしている現状を把握し、必要な支援を行う予定。 - 観光省と女性省は、PGM-WEE の実施ツールや助言を取り込んだジェンダー視点に立ったエコツーリズム政策に署名し、その実施のための基本合意文書 (MoU) を取り交わすことに合意した。また、コミュニティ・ツーリズムやエコツーリズム開発のための国家委員会事務局に女性省を加えることに合意した。 - 農村開発省、労働・職業訓練省、産業・科学・技術・革新省は、所管の州局が既存の事業や行政サービスにジェンダーあるいは WEE の視点を取り入れようとしている現状を把握し、必要な支援を行う予定。 - NCDD から、今後 NCDD のジェンダー政策を実施するための戦略計画を策定する際に、本プロジェクトの成果と経験をどのように活用するか、継続的に女性省と協議を行うことが表明された。
-----------	--

2.3. PDM の変遷

PDM 改訂のポイントを時系列で整理する。なお、改訂後の活動内容は添付資料 3-3 参照。

2.3.1. 2020 年 1 月 (添付資料 3-2 参照)

(1) 期間

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
5 年	5 年 (2017 年 2 月～2022 年 2 月)
理由：プロジェクトの開始・終了の月と年を記載するため。	

(2) 対象地域

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
プノンペン及び 5 つの州	プノンペン及び 5 つの州：①コンポンチュナン、②コンポントム、③シェムリアップ、④トボンクモム、⑤コンポンチャム。
理由：対象州名を記載するため。	

(3) 対象グループ

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
間接受益者：対象地域の女性と男性。	<u>直接受益者：対象地域の女性と男性。</u>
理由：スケールアッププロジェクトのパイロット活動では、対象村の女性と男性は間接受益者ではなく直接受益者となる。	

(4) 上位目標

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
全 25 州にて、女性省/局が推進・調整し、連携省庁/局によるジェンダー視点に立った施策や事業を通じて、女性の経済的エンパワメントが促進される。	対象州および非対象州において、女性省/局のアドボカシー・調整を通じて、連携省庁/局によるジェンダー視点に立った施策や事業が実施されることにより、女性の経済的エンパワメント (WEE) が促進される。
理由：プロジェクト終了後、数年以内にプロジェクトの成果が全州に普及し、それらの州でジェンダー視点に立った施策や事業を通じた女性の経済的エンパワメントの推進が確実に行われることを想定するのは現実的ではないため。	
<指標> 女性省/局の PGM 手法ワークショップに基づいて、連携省庁によりジェンダー視点に立った事業が、全 25 州にて計画・実施される。	<指標> 1. 対象州・非対象州において、改訂版 WEE ガイドラインおよび PGM 手法ガイドラインに基づいて、ジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業が計画・実施される。(PGM 手法ガイドラインとは、ジェンダー視点に立ったセクター政策立案を目的とし、女性省と JICA によって 2007 年 10 月に作成され、2015 年 8 月に改訂されたガイドラインを指す)。 2. 非対象州において実施されるジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業に関し、州女性局と州連携局が議論およびモニタリングを行う場として、女性と子どもの諮問委員会 (WCCC) が機能する。 3. 全ての連携省庁と民主的地方開発委員会 (NCDD) が、プロジェクトが取りまとめた提言の少なくとも 1 つ以上の政策提言をセクター政策・計画または NCDD の州ジェンダー主流化政策・計画に反映し、州レベルでジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業を実施する。
理由：ジェンダー視点に立ったプログラムや事業の目的、計画・実施の際の WEE ガイドライン参照を明確にする。目標の明確化と必要な指標の追加。	
< 指標データ入手手段> 1. PGM 手法ワークショップ実施報告書 2. WCCC 年次報告書	<指標データ入手手段> 1-1 WCCC 年次報告書 1-2 <u>州開発計画</u> 1-3 <u>WCCC 会合議事録・報告書</u> 1-4 <u>セクター別政策・計画及び NCDD ジェンダー政策・計画</u>

理由：指標の改訂に応じて指標データ入手手段を追加。

(5) プロジェクト目標

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
女性省/局が推進・調整し、連携省庁/局によってサブナショナルレベルでの女性の経済的エンパワーメントを促進するジェンダー主流化メカニズムが強化される。	女性省/局によるアドボカシーおよび調整を通じて、連携省庁/局がサブナショナルレベルの WEE を推進するためのジェンダー主流化メカニズムが強化*2 される。 *2 「ジェンダー主流化メカニズムの強化」を次の 3 つの要素により定義する。1)女性省/局職員のアドボカシーおよび調整にかかる適切な能力、2)サブナショナルレベルにおいて WEE を促進する政策の実施体制と手法、3)WEE を促進するためのジェンダー視点に立った政策の立案と実施、に関する提言。
理由：「ジェンダー主流化制度の強化」を定義する。	
<指標> 1. 「州 WEE のためのジェンダー主流化ガイドライン」が承認・普及される。 2. ジェンダー主流化制度のスケールアップ計画が女性省の年次計画やネアリ・ラタナク（戦略 5 カ年計画）に盛り込まれる。	<指標> 1. 女性省/局が、連携省庁/局に対して、ジェンダー視点に立った事業の計画・実施にかかるアドボカシーと調整を行う。 2. <u>全ての対象州において、州女性局と州連携局が、WEE を促進するためのジェンダー視点に立った事業について議論・モニタリングをする場として WCCC が機能している。</u> 3. <u>改訂版 WEE ガイドラインが女性省に承認されている。</u> 4. <u>連携省庁と NCDD ジェンダーチームが、WEE を促進するための実施ツールや提言を少なくとも一つはそれぞれの事業や活動において採用している。</u>
理由：成果品ではなく、成果志向の指標を設定する。	
<指標データ入手手段> 1. 州 WEE のためのジェンダー主流化ガイドライン 2. 女性省のネアリ・ラタナク（戦略 5 カ年計画）に盛り込まれたジェンダー主流化制度のスケールアップ計画	< 指標データ入手手段> 1. <u>連携局の年次計画及びプロジェクト関連資料</u> 2. <u>WEE 会合議事録</u> 3. <u>承認された更新版 WEE ガイドライン</u> 4. <u>連携省庁のセクター計画・年次計画・アクションプラン及び NCDD ジェンダー政策</u>

理由：指標の改訂に応じて指標データ入手手段を追加。

(6) 成果 1

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
ジェンダー主流化メカニズムを用いて、サブナショナルレベルの女性の経済的エンパワーメントを促進する女性省/局の能力が強化される。	サブナショナルレベルにおいて WEE を促進するための女性省/局のアドボカシーおよび調整に関する能力が強化される。
理由：プロジェクトを通じて強化される技術・能力を明確にする。	
<指標> 1-1. TWG-G WEE サブグループを通じて、中央と州の関係者の間で、サブナショナルレベルでの WEE を促進するためのネットワークが構築される。 1-2. 「ジェンダー用語集」が改訂される。 1-3. 「ジェンダー統計リーフレット」が改訂され、対象州のジェンダー統計が作成される。 1-4. ジェンダー視点に立ったバリューチェーン分析を含んだ、改訂版 PGM 手法ガイドラインが作成される 1-5. サブナショナルレベルのジェンダー主流化を通じた WEE ガイドラインが作成される。 1-6. 女性省の促進により、成果 2 および 3 が、連係省庁/局の政策や計画に反映される。 1-7. サブナショナルレベルの WEE を促進するためのジェンダー主流化メカニズムを、プロジェクト終了後に他州へスケールアップするための計画（スケールアップ計画）が、女性省により作成される。	<指標> 1. 女性省/局が、ジェンダー能力評価で定義されるアドボカシーと調整における能力が強化される。
理由：成果物ではなく、成果志向の指標を設定する。	
<指標データ入手手段> 1-1 TWG-G サブグループの WEE 会合議事録 1-2 更新版ジェンダー用語ブックレット 1-3 改訂ジェンダー統計リーフレット及び州ジェンダー統計 1-4 改訂版 PGM 手法ガイドライン	<指標データ入手手段> 1. <u>ジェンダー・キャパシティ・アセスメントの結果 TWG-G WEE/GMAG 会合議事録</u> 2. <u>WEE WG/WCCC 会合議事録</u>

1-5 州 WEE のためのジェンダー主流化ガイドライン	
1-6 連携省庁の更新版 GMAP、年次計画及びターゲット州 WCCC の年次計画	
1-7 スケールアッププロジェクト計画	

(7) 成果 2

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
パイロットプロジェクトの実施を通じて、観光産業分野でマーケット志向を重視したサブナショナルレベルの女性の経済的エンパワーメントを促進する、ジェンダー主流化メカニズムが確立される。	パイロット活動を通じて、WEE を促進するための実施体制・手法の有効性が、女性省/局と連携省庁/局により効果的であると検証される。
理由：プロジェクトにおけるスケールアップ活動（成果 2）とパイロット活動（成果 3）の位置づけが同じであるため、成果 2 と 3 を 1 つの成果にまとめることが妥当。	
<指標> 2-1 PGM2 のインパクト調査およびバリューチェーン分析結果に基づいて、農業（養鶏）プロジェクトのスケールアップ活動のためのツールが整備される。 2-2 女性省による計画に基づいて選定された州（XXX 州）において、州女性局・州連携局によりスケールアップ活動の計画策定・実施・モニタリング/評価が実施される。 2-3 対象州の WEE-WG を通じて、スケールアップ活動の実施調整・モニタリングが行われる。 2-4 スケールアップ活動の成果を継続・拡大するための取組が、連携省庁/局の政策や活動計画に含まれる。	<指標> <u>2-1 サブナショナルレベルでの WEE 推進のための実施ツールについて、女性省/局のカウンターパート及び連携局が習得する。</u> <u>2-2 プロジェクトが設置した WEE-WG の機能が制度化され、改訂版 WEE ガイドラインに盛り込まれる。</u> <u>改訂版 WEE ガイドラインにて定義された WEE-WG の機能と役割が WCCC の協議制度に組み込まれる。</u>
理由：成果物ではなく、成果志向の指標を設定する。	
<指標データ入手手段> 2-1 プロジェクトで開発されるツール（養鶏のマーケティングマニュアル、他） 2-2 女性省活動計画、PGM 手法ワークショップの実施報告書 2-3 WEE-WG 会合議事録 2-4 連携省庁の年次報告書・GMAP、対象	<指標データ入手手段> <u>2-1 研修・ワークショップの記録</u> <u>2-2 WCCC 会合議事録</u> <u>2-3 改訂版 WEE ガイドライン</u>

州 WCCC の年次報告書	
理由：指標の改訂に応じて指標データ入手手段を追加。	

(8) 成果 3

改訂前 (ver.0)	改定後 (ver.1)
パイロットプロジェクトの実施を通じて、観光産業分野でマーケット志向を重視したサブナショナルレベルの女性の経済的エンパワーメントを促進する、ジェンダー主流化メカニズムが確立される。	<u>ジェンダー視点に立った政策の立案・実施のための提言（助言秘訣や教訓）が、女性省/局との活発な議論を通じて、連携省庁/局および NCDD ジェンダーチームによって承認 される。</u>
理由：サブナショナルレベルにおける WEE 推進に向けて、連携省庁/局とプロジェクト活動に基づく助言や教訓が共有され、プロジェクト完了後にそれがそれらのセクター政策・計画に盛り込まれることが期待されるため。	
<指標> 3-1 シェムリアップ州において州女性局/連携局により、観光産業パイロットプロジェクトの計画策定・実施・モニタリング/評価が実施される。 3-2 対象州の WEE-WG を通じて、パイロットプロジェクトのマーケティング強化のための官民協力体制が構築される。 3-3 マーケティングに関する調査結果が取りまとめられ、強化するツールが作成される。 3-4 観光産業における女性の経済社会的状況が改善する（具体的な指標は、ベースライン調査結果に基づき設定する）。 3-5 パイロットプロジェクトの成果を継続・拡大するための取組が、連携省庁/局の政策や活動計画に含まれる。	<指標> ジェンダー視点に立った政策の立案・実施のための提言（助言や教訓）が、女性省/局との活発な議論を通じて、連携省庁/局および NCDD ジェンダーチームによって承認される。
理由：成果 3 の改訂に合わせて指標を再設定する。	
<指標入手手段> 3-1 PGM 手法ワークショップ実施報告書 3-2 WEE-WG 会合議事録 3-3 市場調査報告書、プロジェクトで開発されたツール 3-4 ベースライン・エンドライン調査結果 3-5 連携省庁による年次計画・GMAP、対象	< 指標入手手段> 1. <u>TWG-G WEE/GMAG/NCDD ジェンダーチームによる会合議事録</u> 2. <u>WCCC 会合議事録</u>

州における年次計画	
理由：指標改訂に応じて指標データ入手手段を変更。	

2.3.2. 2022 年 1 月（添付資料 3-3 参照）

(1) 期間

改訂前 (ver.1)	改定後 (ver.2)
2017 年 2 月～2022 年 2 月	2017 年 2 月～2022 年 12 月
理由：新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、収入向上に係るパイロット活動や、成果 2 のビジネススキル研修のフォローアップが中断され、プロジェクト全体の実施スケジュールが遅延した。プロジェクト目標達成に必要な WEE ガイドラインの作成にあたり、パイロット活動の実施とその分析が不可欠であるため、プロジェクト実施期間を 10 カ月延長した。	

(2) 活動

改訂前 (ver.1)	改定後 (ver.2)
1-8 パイロット活動を通じて女性省/局が連携省庁/局に対しジェンダー視点に立ったモニタリング・評価に関する技術的指導・助言を行う。	1-8 ジェンダー視点に立った政策のモニタリングと評価に関する概念が連携省庁/局と共有される。
理由：ジェンダー主流化行動計画（GMAP）を策定していない省庁に対し、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価に関する助言を行うことは困難である。そのため、研修や会議を通じて、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価の基本的な考え方を共有し、GMAP の策定に向けた取組を進めていくこととする。	
1-9 ジェンダー主流化及び女性の経済的エンパワーメントの能力強化に係る本邦研修の実施。	取り下げ
理由：新型コロナ感染症の拡大により来日が困難となったため、本邦研修の実施を取り下げることにした。その代わりにパイロット活動の振り返り、女性省/局の WEE アドボカシー及び調整能力の強化を目的としたリトリートをカンボジアで実施する。	

2.4. その他

- 本プロジェクトでは、WEE の概念を経済的側面（所得の増加、経済活動への参加など）だけでなく、女性の生活のより総合的な側面で定義している。そのため、パイロット活動の成果や影響は、家庭レベルでのジェンダー関係の改善や女性の自信向上、DV の減少やコミュニティ活動への積極的な参加まで、様々な発現効果があった。この意味で、本プロジェクトは女性のエンパワーメントと男女平等を強化するための実践的で効果的なツールを現場に導入することができたといえる。
- パイロット活動を通じて支援された女性や女性グループによる生計向上や小規模ビジネスが、対象村の貧困削減に寄与していることが明らかになった。

3. プロジェクトの評価

3.1. DAC 評価項目による評価結果

本プロジェクトの評価を DAC6 項目（妥当性、整合性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づき実施した。評価結果と理由を以下に示す。

3.1.1. 妥当性

「妥当性」は以下の理由から、「高い」と判断される。

(1) 相手国の開発計画との整合性

- 国家戦略開発計画（NSDP）（2014-2018 年）では、女性の経済的エンパワーメントと女性の意思決定の促進が重点事項として位置づけられ、続く NSDP（2019-2023 年）においても、これらの優先順位が維持されている。この点において、本プロジェクトは計画段階から完了まで、NSDP 等の国レベルでの開発政策に合致している。また、2019 年に行われた NSDP の年次レビューにおいて、2023 年以降も継続してこれらの重点事項に取り組むことが確認されており、今後の政策の方向性とも整合している。
- 今後に策定が予定されている国家ジェンダー平等政策（2021-2035 年）では、国や地方行政におけるジェンダー平等を推進する仕組みの強化や自治体間の連携が戦略の一つとして掲げられる。また、経済成長と社会的な側面においてジェンダー平等と女性のエンパワーメントを実現することが目標として明確に示されている。本プロジェクトは、具体的で効果的な手法（国・地方レベルでのジェンダー主流化メカニズムの強化と WEE 推進のためのツール開発）を提供することで、同政策の実現に貢献している。

(2) 相手国のセクター計画との整合性

- ネアリ・ラタナク 4（2014-2018 年）とネアリ・ラタナク 5（2019-2023 年）では、カンボジアにおけるジェンダー平等を推進するために、経済的エンパワーメント、教育、保健、法的保護、意思決定とリーダーシップ、気候変動の 6 分野を重点課題として優先的に取り組んでいる。本プロジェクトは、2014 年から 2023 年までのネアリ・ラタナクの主要プログラムである「女性の経済的エンパワーメント促進」の一つとして策定・実施されたものである。
- WEE は、カンボジア政府と開発パートナーの共同モニタリング指標枠組み（JMIs）（2019-2023 年）におけるアウトプットの一つとされている。この枠組みでは、カンボジア政府と開発パートナーは、次の 3 つの指標を設定している。(a) WEE 促進のための国家プログラムの推進、(b) カンボジア、ASEAN、世界における女性起業家

育成、ジェンダー、経済に関する情報共有、知識共有、ネットワーク構築を促進するためカンボジア女性起業家ネットワーク（Cam-WEN）の強化、(c) 意思決定への女性の参加強化に関する国家目標の達成とモニタリングに向けた関係者の調整のための女性のリーダーシップとガバナンスプログラムの推進、である。本プロジェクトは、上記の一番目の指標と明確に関連している。

(3) 相手国の開発ニーズとの整合性

- 本プロジェクトの受益者は、政府機構内のカウンターパートや関係者、ジェンダー平等の取組の最終的な主体である農村部の女性とその世帯に至るまで多岐にわたる。
- 州レベルでの WEE-WG の設置・運営は、プロジェクト対象州の連携局がそれぞれのセクターにおいて、地域の女性たちを効果的に支援しジェンダー主流化を推進するうえで効果的であった。
- パイロット活動地域の女性たちは、WEE-WG による技術研修、ビジネス研修、ジェンダー研修、フォローアップ活動などについて大きな感謝の意を示している。これらの活動に参加することによって、女性が個人、家族、地域の各レベルで、心理的・経済的な力をつけることができたと感じている。また、過去に夫から DV などを経験した女性たちの多くが、パイロット活動を通して新しい知識やスキルを獲得し、それを応用することで生活の質が大きく向上したと報告している。

(4) 開発ニーズに対応した事業アプローチの適切性

- 本プロジェクトは、PGM1 と PGM2 の成果をふまえ、農村女性が行う生計向上活動や小規模事業に対する政府の取組にジェンダー視点を取り入れるためのパイロット活動を通じて、ジェンダー主流化を促進するための女性省の能力強化を図るものである。過去のプロジェクトの成果・経験に基づき、WEE の観点を明確化し、プロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）の各段階に WEE の視点を導入した。プロジェクトを通じて開発された WEE ガイドラインは、WEE を促進するための重要なツールである。
- ジェンダー平等は横断的な開発課題であるため、WEE を推進し、農村部の社会経済開発と貧困削減に貢献する生計向上を持続的に行うためには、関係省庁や州当局を巻き込んだマルチセクター・アプローチが非常に重要かつ有効な手段である。
- 本プロジェクトの経験を通じて、女性の経済的エンパワーメントには、ジェンダー主流化と経済活動の観点から同時にアプローチすることがより効果的でインパクトのあることが証明された。パイロット活動の対象州における女性の状況は、プロジェクトが開発した手法を適用して体系的に分析されている。このことは、WEE 推進のためのエビデンスに基づく開発的介入という意味で、プロジェクトの大きな強みの一つとなっている。

3.1.2. 整合性

整合性は以下の理由から、「高い」と判断される。

- カンボジアと日本の二国間協力のもと、日本の ODA の包括的文書である「対カンボジア王国 国別開発協力方針」(旧国別援助方針) (2017 年 7 月) の枠組みにおいて、本プロジェクトが策定された。同方針において、ジェンダー主流化は、持続可能な社会の実現に向けたガバナンスにおいて不可欠なものと位置づけられている。また、ODA タスクフォースは日本の女性支援や人間の安全保障の立場に鑑み、カンボジアでは上位政策でジェンダー平等や女性の地位向上がうたわれているものの、社会では目立った改善が見られないことに着目している。本プロジェクトは、女性省と女性局の能力強化を図り、農村女性の経済活動におけるジェンダー主流化を促進するためのメカニズム構築に注力しており、日本の開発協力方針との整合性は高い。
- 本プロジェクトは、カンボジアの SDGs 5「ジェンダー平等」達成に向けた取組の一環として女性省に認知されている。さらに、貧困削減、飢餓撲滅、教育、保健などの他の SDGs ゴールとも密接に関連しており、カンボジア政府の取組と整合性が高い。

3.1.3. 有効性

有効性は以下の理由から、「比較的高い」と判断される。

- プロジェクト期間内に、ASEAN セミナーの実施(活動 3-7)を除き、予定されていた全ての活動を完了した。ASEAN セミナーについては、2022 年 8 月の第 4 回 JCC での合意に基づき経験共有ワークショップ(活動 3-6)に変更して実施した。
- 以下の点から、プロジェクト目標はほぼ達成されたといえる。
 - パイロット活動の実施やジェンダー主流化ワークショップ、2022 年 7 月に実施されたリトリートプログラムを通じて、ジェンダー視点や WEE の視点を主流化するための女性省と女性局のアドボカシーや調整に関する能力が強化された。その結果、各対象州では、女性局と州関係局が協力し、既存のプロジェクトや活動として、IFAD/MAFF の支援による小農のための包括的市場の加速化(AIMS)プロジェクトや、イノベーションと拡張のための農業サービスプログラム(ASPIRE)、PDISTI の一村一品(OVOP)プロジェクト、などにジェンダーや WEE の視点を取り入れるための議論や調整が、プロジェクト終了前から開始されている。
 - 各州では、パイロット活動(WEE 関連活動)の計画、実施、モニタリングについて州女性局と州連携局間の調整と経験共有を推進するプラットフォームとして WEE-WG が設置された。WEE-WG の活動を通じて、州レベルでの関係部局の協力モデルが確立され、州女性局のプロジェクト活動への参画が促進された。プロジェクト終了に際し、各対象州の WEE-WG メンバーは、プロジェクト終了後も引き続き WEE-WG の機能を継続することの重要性を確認し、KCH 州、KPC 州、KPT 州、

TBK 州は WCCC、SRP 州については州行政体の下にそれぞれ機能を置くことが州知事によって承認された。これらは、WEE-WG の活動を通じた本プロジェクトのアプローチの有効性を示している。

- 州レベルにおける WEE 促進のためのツールと実施体制が改訂版 WEE ガイドラインとして取りまとめられ、2023 年 1 月に女性省長官によって正式承認された。
- 中央レベルでは、GMAGs メンバーとの協議を通じて、WEE の観点からのジェンダー視点を取り入れたモニタリングやジェンダー予算編成に関する議論を促進した。また、NCDD ジェンダー政策チームと、州レベルでのパイロット活動から得られた知見や経験を NCDD ジェンダー政策の行動計画にどのように活かすかについて、一連の協議を実施した。さらに、女性省は複数のプロジェクト活動に GMAG メンバーを招き、プロジェクトの計画・実施にどのようにジェンダー視点を取り入れ主流化していくかの知見や経験を共有した。これらの結果、中央レベルでは、観光省のエコツーリズム政策や上述の IFAD/MOAF の支援による複数の事業にジェンダー視点を取り入れられ、州レベルでは連携局を通して、セクター別計画へジェンダー視点が反映されるなど、適用に向けた取組事例が複数みられるが、プロジェクト終了までに実際の適用事例は報告されていない。
- WEE-WG は、女性局と農業、観光、商業、労働・職業訓練、農村開発、産業、計画などを担当する各局が協働し、州レベルで WEE を推進するための効果的なツールとして認識されている。ジェンダー主流化と女性の経済的エンパワーメントを同時に進めることによって、女性の経済活動に関する能力強化、女性が自信をもつことや家族の調和の強化、ジェンダーに基づく暴力と貧困の削減などを通じて、ジェンダー平等を効果的に達成するための大きな一歩となることが明らかになった。WEE-WG は、他の関連する州連携局や同じ局内の異なる部門の関わりを得て、さらに拡大することが可能である。

3.1.4. 効率性

効率性は以下の理由から、「中程度」と判断される。

- 女性省と州女性局の能力強化(成果 1)とパイロット活動の実施に時間が必要なため、成果 3 にかかる活動のための時間が少なくなっている。効率性を向上させるため、パイロット活動の実施においても女性省と州女性局のジェンダー主流化のためのアドボカシーと調整に関する知識と技術の習得のための技術支援が行われた。
- 新型コロナウイルスの流行による国内移動制限のため、パイロット地域での活動のほとんどが数カ月延期されたが、オンライン会合による支援を通じ WEE-WG メンバーによる作業と技術会合は継続して開催された。このため、移動制限の解除直後からパイロット活動を再開することが可能となった。
- 新型コロナウイルス流行による活動の遅れを勘案し、プロジェクト期間は 10 カ月延

長されたが、計画どおりのパイロット地域での研修実施は依然として困難であることがわかった。しかし、研修内容を一部中止することは効果の観点から難しく、代わりに研修を簡素化したり、研修トピックを統合して一度に実施したりするなどの措置が取られた。その結果、詳細の説明不足となる研修もあり、対象女性の研修内容理解に困難もあった。それらのトピックについては、リフレッシャー研修にて再度指導が行われた。

- 日本人専門家の配置は、必要な専門性と配置人月共に適切であった。対象州での活動に配置された C/P の人数、配置の時期も適切であった。機材の種類、質は活動の実施の観点から必要なものであり、中央と州に適切に配分された。

3.1.5. インパクト

インパクトは以下の理由から、「中程度」と判断される。

プロジェクトのインパクトは、上位目標の達成度と合わせ、プロジェクト完了の 3～5 年後に適切に評価されるものであるが、C/P や連携省と州局、対象女性とその家族にすでにポジティブなインパクトが見られる。

- C/P はもちろん、女性省、女性局、WEE-WG メンバー、連携省の関係者が PCM に関する知識とスキルを習得している。また、女性省と州女性局は、プロジェクト活動を通じ、ジェンダー主流化と WEE の促進により自信が持てるようになったとコメントしている。連携州局と省の関係者は、WEE-WG を通じた協働に非常に満足しており、プロジェクトを通じて WEE のための活動のもたらす便益を学んでいる。
- ジェンダー研修で教えられている WEE の 6 要素（参加の機会、情報共有、労働分担、収入管理、意思決定、自信と他者からの認知）に関し、対象女性とそのジェンダー関係にポジティブな変化が見られた。プロジェクト活動開始後、対象村で家庭内での暴力が大きく減ったとの報告もあった。
- 上位目標の達成には、ジェンダー視点に立ったプロジェクト・プログラムの計画と実施を通じた WEE のさらなる促進が必要である。連携省・州局はプロジェクトの効果を活用して WEE を促進するためにさらに協力を進める意向である。女性省も連携省と協力しつつ、対象州以外の州でもアドボカシーと調整を進めていく予定である。

3.1.6. 持続性

持続性は以下の理由から、「中程度」と判断される。

- カンボジア政府の開発枠組み内での WEE の優先度の高さや女性省の役割に鑑み、開発政策の観点で持続性は高い。プロジェクトの活動とアウトプットは、特に農村地域における WEE の促進の点で政策優先度と合致している。農村地域における WEE の

促進は、ジェンダー開発指数やジェンダー不平等指数などの開発指標、2030 年までに達成されるべき SDGs のゴール 5 やその他のゴールの達成にも貢献する。

- 対象 5 州全てが WEE-WG の機能を既存の WCCC または州行政体の下に置き、制度化することを決定し、各州の州知事が承認したが、実際に会議が持続的に招集され、必要な議論や情報共有がなされているかは不明のため、現時点での制度面での持続性は中程度。また、中央レベルでは 2022 年 10 月に TWG-G WEE サブグループの会議が再招集され、今後 WEE 推進にかかる関係機関・関係者間の情報共有や調整を行うプラットフォームとしての機能を果たしていくことが合意された。将来的に、プロジェクト対象州における農村女性の WEE 促進のための取組が、このサブグループによってフォローされ、必要な技術面や財政面での支援がなされることが期待される。
- 技術的・人材的な観点からの持続性は中程度である。WEE 促進に必要な知識とスキルは WEE ガイドラインにまとめられ、能力アセスメントを通じて女性省及び州女性局の能力向上は確認されたものの、ジェンダー主流化強化に向けた連携省庁との調整やアドボカシーのために、そうした技術や人材をどのように活用していくのか、女性省内でどのように制度化していくのかはいまだ明確になっていない。女性省と連携省庁によるプロジェクトの成果の幅広い活用、上位目標達成に向けたガイドラインの継続的な更新は、上位目標達成に向けて懸念として残っている。
- カンボジア政府の予算配分においては、WEE の優先度は低くなりがちであることから、財政的な持続性はやや低いと判断される。州レベルでの WEE 促進のためには、女性省が経済財務省に予算配分を働きかけていくことが重要である。さらに、TWG-G の WEE サブグループが活性化されれば、特に農村地域での WEE 促進への資金配分を後押しするものと思われる。

3.2. 活動実施と成果達成に影響を及ぼした要因

本プロジェクトの開始から約 2 年間、地方分権化（D&D）プロセスにおけるジェンダー主流化を推進するための具体的な政策的根拠はなかった。しかし、2019 年 5 月に NCDD の州レベルにおける民主的開発におけるジェンダー平等推進政策が承認され、第 3 回 JCC において本プロジェクトと同政策との整合性が確認された。

3.3. プロジェクトのリスク管理

女性省と JICA は、2019 年 7 月の運営指導調査を通じて、NCDD の新政策の方向性が本プロジェクトと合致している点を確認した上で、同政策と本プロジェクトの関連性を最大化する観点から、プロジェクトの枠組み、目標、アウトプット、活動を再度整理することに合意した。その後、同年 9 月の中間レビューにかかる協議を経て、2019 年 12 月の第 3 回 JCC において、PDM の改訂が正式に承認された。

PGM2 と同様に、州副知事や WCCC 議長など、地方政府における女性の積極的なリーダーシップは、パイロット活動の円滑な実施に寄与した。このことは、州局のオーナーシップを高めることにもつながった。州のマネジメントレベルや州局のプロジェクト活動へのコミットメントと、プロジェクトが開発したツールやメカニズムの有効性への深い理解は、成果 2（指標 2-2）及びプロジェクト目標（指標 2）を達成するために不可欠なものであった。

3.4. 教訓

- WEE 促進のためのセクター横断的なアプローチは、連携州局が有する既存のスキルと知識を活用する形で、農村女性の収入向上と WEE の実現の両面に確実な成果を上げる点で効果的である。
- 本プロジェクトのパイロット活動を通じて開発・改訂された実施ツールは、WEE のみならず、より広義のジェンダー主流化を促進するための、ジェンダー視点に立った事業の実施管理の実践に役立つものである。
- カンボジアでは、これまで（先行フェーズを含めて）女性と男性を対象とした生計向上活動支援そのものが WEE 促進につながるという考えが主流であったため、生計向上支援において、特に女性が現金収入を得られることにより、女性自身やその家族、コミュニティにどのような変化をもたらすことが女性のエンパワーメントの視点から求められるのか、という視点に立った活動・支援は行われてこなかった。その観点から、本プロジェクトを通じて開発された WEE のコンセプトに関するジェンダー研修のコンテンツは、対象女性や男性のジェンダー平等や女性のエンパワーメントに係る考えや行動変容をもたらすために極めて効果的であった。
- 農村女性による生計向上活動や小規模ビジネスが、女性のニーズやジェンダー課題を明確に特定した形で適切に支援される限り、WEE は単に家計に追加収入をもたらすだけでなく、女性が主体的に生計向上活動や小規模ビジネスに必要な知識やスキルを習得するとともに、WEE についての理解を深めることで、そうしたプロセスを通じて女性自身が自信を持ち、さらには女性を取り巻くジェンダー関係にも変化をもたらす形で推進されうるとともに、そうした変化はジェンダー平等の実現に貢献するものである。
- ジェンダー視点に立った事業実施のための予算は限られているものの、対象州の連携局が本プロジェクトの成果を様々な形で活用する可能性を提示した。
- 州レベルにおけるジェンダー主流化をより確実に推進するためには、本プロジェクトを通じて能力強化が図られた連携局職員（2～3 名）以外にも、ジェンダー視点に立った事業管理や WEE に関する知識やスキルを習得するための能力強化の機会が必要であるとともに、WEE に限らないジェンダー主流化に関する能力強化については、本プロジェクトの対象であった連携局以外の州関係局に対しても実施する必要性が高い。

3.5. COVID-19 対応として実施した活動/支援

COVID-19 拡大が本プロジェクトの対象地域である SRP 州、KPT 州の観光セクターを中心とした経済活動に与えた影響を考慮し、本プロジェクトでは以下の 3 つの追加活動を提案し実施した。

➤ 観光産業に従事する女性へのインパクト調査

COVID-19 が観光産業に従事する女性に与えた影響について情報・データを収集・分析し、調査結果を連携省庁や SRP 州、KPT 州の関係者と共有した。また、調査結果は、各省庁、州政府、開発パートナー、NGO などが当該地域や女性のニーズを把握し、必要な介入の計画や実施に活用できるよう関係者に共有された。

➤ 観光産業関係者（特に女性）を対象とした衛生管理セミナーの実施

女性省と観光省が連携し、観光分野における衛生管理知識の普及と意識の向上を目的として、具体的な衛生管理の実践方法に関するセミナーを実施した。セミナー参加後のモニタリングや認証などを通して、知識の定着を図るよう工夫した。また、本セミナーは観光産業で働く幅広い人々（特に女性）に普及するため、対面式とオンライン式の両方で実施した。

➤ 観光産業で活躍する女性に焦点を当てた観光振興の支援

本活動は、COVID-19 後の観光客の早期回復に向けて、観光分野で活躍する女性に焦点を当てたショートビデオを作成し、カンボジアの観光 PR（カンボジア国内外から観光分野で活用する女性への関心を高め、SRP 州や KPT 州の観光活性化に貢献することを目的としたものである。

4. 上位目標達成に向けた提言

4.1. 上位目標達成の見通し

本プロジェクトの上位目標達成の見通しについて、指標に沿って整理した結果を以下に示す。

上位目標：	対象州および非対象州において、女性省/局のアドボカシー・調整を通じて、連携省庁/局によるジェンダー視点に立った施策や事業が実施されることにより、女性の経済的エンパワーメント（WEE）が促進される。
-------	--

指標 1：対象州・非対象州において、改訂版 WEE ガイドラインおよび PGM 手法ガイドラインに基づいて、ジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業が計画・実施される。

ジェンダーに配慮したプロジェクトや活動が計画・実施され、少なくとも本プロジェクトの対象州ではジェンダー視点が WEE 関連のプロジェクト・活動のプロジェクト・サイクル・マネジメントに組み込まれることが期待される。例えば、2022 年 10 月時点で、対象州では、カンボジア政府のプログラム予算で賄われる州の計画（年次計画、3 カ年投資計画など）や既存のプロジェクト・活動（農業ビジネス、職業訓練、縫製工場への行政指導、村レベルでの女性のリーダーシップなど）に、PGM-WEE から得られたジェンダー視点や WEE 視点を取り入れ始めていることが確認されている。ただし、本プロジェクト非対象州において同様の活動を行うには、女性省や関連省庁の技術支援や連携促進なしには容易でないと考えられる。なお、女性省は毎年数州を対象に、ジェンダー主流化にかかる研修を実施しているほか、NCDD の「民主的な地方開発のためのジェンダー平等推進政策」の行動計画においても、州関係者に対するジェンダー平等および女性のエンパワーメントに関する能力強化が含まれていることから、それらの機会を活用した働きかけが期待される。

指標 2：非対象州においてジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業に関し、州女性局と州連携局が議論およびモニタリングを行う場として、女性と子どもの諮問委員会（WCCC）が機能する。

プロジェクト終了時点において、対象州 5 州において、WEE-WG の機能を正式に内製化することが決定されたため、各州で WEE-WG が実際に機能するかどうかの判断は困難である。ただし、パイロット活動や KPC 州と KCH 州についてはフォローアップ活動などを通じて、州レベルでの WEE 促進のために WEE-WG が機能することが重要であることは副知事および WCCC 議長を含め、関係者が深く理解していること、またプロジェクト終了までに全 5 州ともに既に知事から WEE-WG 設置についての承認を得ていることから、実際に機能していく可能性は高い。なお、WCCC の下に設置することになっている SRP 州を除く 4 州については、現時点で既存の WCCC の定期会合の実施予算は配分されているため、会議を通じた WEE 促進・モニタリング等が継続して実施されていく可能性は高い。SRP 州につ

いては、既存の WCCC の下に設置するより WEE-WG としての機能を果たしやすいという判断の下、州行政体の下に設置するという判断をしており、最初の予算取りが適切に行われればその後の継続には問題はない。一方で、5 州ともに WEE 促進のための活動実施にかかる予算確保までは難しいことから、WEE-WG の機能としては既存の活動・事業の中での成果や教訓の共有にとどまることが想定され、他ドナー支援などによるジェンダー視点に立った WEE 促進のための活動・事業実施にかかる資金支援、さらにジェンダー主流化が定着されるための技術支援の必要性は高い。また、プロジェクト終了時点において、非対象州においても同様の制度が構築され、機能していくかについての見通しを立てることは難しい。

指標 3：全ての連携省庁と民主的地方開発委員会（NCDD）が、プロジェクトが取りまとめた提言を少なくとも 1 つ以上セクター政策・計画または NCDD の州ジェンダー主流化政策・計画に反映し、州レベルでジェンダー視点に立った WEE 促進のための事業を実施する。

全ての連携省庁は、PGM-WEE からの提言を省の政策、計画、プロジェクトに取り入れることに関心を示している一方で、NCDD も本プロジェクトを通じて開発されたツールや教訓を、今後 NCDD ジェンダー政策実施のための策定する戦略計画において活用することが効果的であることに合意した。しかしながら、いずれもその実現には、カンボジア政府の財政状況のほか、女性省が効果的にアドボカシーを推進し、経済財務省や他の省庁との調整を行い、連携省庁が実施に必要な予算を確保するよう働きかけていくことが求められる。こうした働きかけは、特に女性省ジェンダー平等局によって実施されることが期待される。

4.2. 上位目標達成に向けた実施計画及び実施体制

- プログラム予算で毎年実施している PGM ワークショップの内容を更新し、PGM-WEE の非対象州で女性局の技術研修を実施する（2～3 州/年）。
- 女性局の年次計画におけるジェンダー視点と WEE 関連活動の統合を確認する。
- 計画やプロジェクトにジェンダーや WEE の視点を取り入れるよう、州の関係部局に働きかけ調整する。
- 州女性局の年次計画におけるジェンダー主流化の状況について、女性省が州女性局から定期的な報告を通じてモニタリングする。
- 対象州における WEE-WG の制度化に関し、女性省がプロジェクト終了後もその進捗状況をフォローするとともに、そうした制度がどのような形に統一されていくことが望ましいかについての議論を、内務省を巻き込んだ形で主導し、非対象州への導入に結びつけることが期待される。
- 少なくとも年に 1 回開催される GMAG 会議を通じて、GMAP またはセクタープランにおけるジェンダー主流化の状況をモニタリングする。
- プロジェクトが開発したツールや教訓を、今後 NCDD と女性省が NCDD のジェンダー政策の実施のために策定する戦略計画の中で活用することが望ましい。

4.3. 提言

(1) 技術研修（PGM ワークショップ）内容の更新

州レベルで実施される WEE 関連活動において、ジェンダー主流化を推進していくために、女性省が PGM-WEE のパイロット活動対象州及び非対象州の女性局に対して技術支援を行うことが期待される。毎年、女性省では州女性局に対して実施する技術研修（PGM ワークショップ）予算が確保されていることから、それらの研修コンテンツへ WEE ガイドラインの内容を取り入れるなどしてアップデートし、実施することが望まれる。

(2) 州レベルにおける WEE 促進の取組についての進捗報告

州レベルにおける WEE 促進のための取組の進捗状況は、定期的開催予定の TWG-G WEE の会合において、連携省庁や他ドナーなどの関係者に共有されることが期待される。

(3) WEE 促進のための予算確保

州レベルでジェンダーに配慮した WEE 活動の計画・実施を確保するためには、女性省が経済財務省と協議し必要な予算を獲得すること、また、開発パートナーと交渉し WEE 推進のための財政支援を強化することが重要である。

(4) セクター政策・計画のジェンダー主流化の推進

全てのセクターにおいてジェンダー主流化を推進するため、カンボジア政府と各省庁は、GMAP として個別の活動を計画するのではなく、通常のセクター政策・計画にジェンダー視点を統合していく必要がある。また経済財務省は、ジェンダー視点に立った事業や活動への予算配分を確保するため、ジェンダー予算の導入について検討する必要がある。

4.4. プロジェクト終了時から事後評価に向けたモニタリング計画

- 女性省は、プロジェクト終了後、プロジェクトの成果を活用した形で、中央および州レベルで行われる様々な活動・取組をモニタリングし、その進捗と結果についての情報を取りまとめる。そうした情報を必要に応じて JICA に共有する。
- JICA カンボジア事務所は、引き続き TWG-G 会議の共同議長を務める。また、TWG-G WEE サブグループのメンバーを務める。TWG-G WEE では、女性省が PGM-WEE に関連する活動の進捗状況をフォローし、それらを JICA と共にモニタリングすることが期待される。
- カンボジア政府の深刻な予算不足が、プロジェクトの成果の持続性やインパクト、さらには上位目標達成の懸念事項となっている。このことから、カンボジアで実施される WEE 推進に資する JICA 事業へのジェンダー視点の取り込みを進めることが期待される。さらに、JICA が WEE ガイドラインのエッセンスを開発パートナーとも共有することにより、他の開発パートナーが支援するプロジェクトなどにおいても、ジェンダー視点や WEE 視点の取り込みを促進することが期待される。

添付資料 1：業務の実績

1-1 専門家の派遣実績

担当	名前	人月 (実績 / 計画)
総括/ジェンダー主流化 1	東谷 あかね	現地: 8.72 / 8.70 国内: 7.70 / 7.70
副総括/ジェンダー主流化 2	鶴峯 美千子	現地: 4.73 / 4.73 国内: 4.25 / 4.25
組織強化/ガバナンス	房前 理恵	現地: 7.10 / 7.10 国内: 5.20 / 5.20
女性の経済的エンパワーメント	八木 泰子	現地: 9.30 / 9.30 国内: 6.50 / 6.50
市場ビジネス開発	小川 奈穂子	現地: 4.77 / 4.77 国内: 0 / 0
市場ビジネス開発	松井 真由美	現地: 0 / 0 国内: 5.05 / 5.05
研修管理		国内: 0.30 / 0.30
市場ビジネス開発	渡辺 知子	現地: 1.23 / 1.57 国内: 1.80 / 1.80
	國村 桜	現地: 1.73 / 1.40 国内: 0 / 0
業務調整/ジェンダー成果分析	坂本 実玲	現地: 5.13 / 5.13 国内: 4.65 / 4.65
業務調整/ジェンダー成果分析	國村 桜	現地: 0 / 0 国内: 1.80 / 1.80
業務調整/ジェンダー成果分析	宗盛 千枝	現地: 2.27 / 2.28 国内: 0.15 / 0.15
研修管理		現地: 0.50 / 0.50 国内: 0.40 / 0.40
モニタリング	大西 由美子	現地: 0.47 / 0.47 国内: 0.35 / 0.35

1-2 カウンターパート（女性省）

No	名前	役職	局
1	H.E. Chan Sorey (Project Director)	Secretary of State	
2	H.E. Chhoy Kimsor	Advisor	
3	Ms. Te Vouchlim (Project Manager)	Director	Planning and Statistics (PSD)
4	Ms. Cheng Chinnet	Director	Gender Equality (GED)
5	Ms. Thouern Sakmana	Director	Economic Development (EDD)
6	Ms. Khim Sovanny	Deputy Director	PSD
7	Mr. Sok Chheng	Deputy Director	EDD
8	Mr. Meas Chiwut	Chief Office	GED
9	Ms. Ouk Kosomakesey	Chief Office	PSD
10	Ms. Chea Socheata	Chief Office	PSD
11	Mr. Phin Soksratum	Chief Office	PSD
12	Ms. Sor Minea	Chief Office	EDD
13	Mr. Ham Siphath	Chief Office	EDD
14	Ms. Somthun Chanchariya	Vice Chief Office	PSD
15	Ms. Chea Chanvanny	Vice Chief Officer	EDD
16	Ms. Heng Samphos	Vice Chief Office	PSD
17	Ms. Meng Dina	Vice Chief Office	PSD
18	Mr. Lim Samedy	Vice Chief Officer	GED
19	Ms. Lun Sophea	Vice Chief Office	GED
20	Mr. Khem Nalim	Vice Chief Office	PSD
21	Ms. Loerk Srey Touch	Officer	EDD
22	Ms. Yin Samneang	Officer	PSD
23	Ms. Pov Sony	Contract Officer	PSD

1-3 対象州におけるパイロット活動実施のため配置された女性省のフォーカル・ポイント

対象州	名前	役職	局
Kampong Chhnang	Mr. Meas Chiwut	Chief Office	GED
	Mr. Sok Chheng	Deputy Director	EDD
Kampong Thom	Ms. Chea Socheata	Chief Office	PSD
	Ms. Ouk Kosomakesey	Chief Office	PSD
	Ms. Sor Minea	Chief Office	EDD
	Ms. Meng Dina	Vice Chief Office	PSD
	Mr. Lim Samedy	Vice Chief Office	GED
	Mr. Ham Siphath	Chief Office	EDD
Tboung Khmum	Ms. Somthun Chanchakriya	Vice Chief Office	PSD
	Ms. Heng Samphos	Vice Chief Office	PSD
	Mr. Khem Nalim	Vice Chief Office	PSD
	Ms. Loerk Srey Touch	Officer	EDD
	Ms. Chea Chanvanny	Vice Chief Office	EDD
Siem Reap	Mr. Pin Soksratum	Vice Chief Office	PSD
	Ms. Lun Sophea	Vice Chief Office	GED
	Ms. Pov Sony	Contract Officer	PSD
	Mr. Meas Chiwut	Chief Office	GED
Kampong Cham	Mr. Sok Chheng	Deputy Director	EDD
	Ms. Yin Samneang	Officer	PSD

1-4-1 Kampong Chhnang 州の WEE-WG メンバー

No	名前	役職	WEE-WG での 役割
WEE Working Group			
1	Pal Yuern	Member of Provincial Councilor	Chair
2	Tong Nary	WCCC chair	Deputy
3	Pich Sophea	Director, PDWA	Deputy
Technical Working Group/Secretariat			
1	Chuon Vatanary	Deputy Director PDWA	Chair
2	Heng Kimsreang	Deputy Director PDAFF	Deputy
3	Soam Sinath	Director PDLVT	Member
4	Hy Ratana	Director, PDOC	Member
5	Lay Nareth	Deputy Director PDOP	Member
6	Him Sochetta	Deputy Director PDISTI	Member
7	Kay Sokchea	Deputy Director PDRD	Member
8	Sun Kimsean	Chief Office, PDRD	Member
9	Ith Sophany	Chief Office, PDWA	Member
10	Tim Chy	Chief Officer, PDRD	Member
11	Khiev Pros	Chief Office, PDLVT	Member
12	Chhin Kanha	Vice Chief Office, PDAFF	Member
13	Thauk Kim Chheang	Vice Chief Office, PDPAFF	Member
14	Yin Chenda	Vice Chief Office, PDOP	Member
15	Ven Sreyleak	Officer, PDISTI	Member
16	Som Sokphearum	Officer, PDOP	Member
17	Nhim Sokha	Officer, PDLVT	Member
18	Souerng Pisen	Officer, PDOC	Member
19	Ouk Sokha	Officer, PDOC	Member
20	Ham Kimhour	Officer, PDISTI	Member

1-4-2 Siem Reap 州の WEE-WG メンバー

No	名前	役職	WEE-WG での役割
WEE Working Group			
1	You Sophear	Deputy Governor	Chair
2	Sin Norm	WCCC chair	Deputy
3	Ngov Sengkak	Director, PDOT	Deputy
4	Krong Sithavy	Director, PDWA	Permanent Deputy
Technical Working Group			
1	Krong Sithavy	Director, PDWA	Chair
2	Van Channa	Deputy Director, PDWA	Deputy
3	Sor Rene	Deputy Director, PDAFF	Member
4	Seur Siharith	Deputy Director, PDRD	Member
5	Srey Sokun	Deputy Director, PDOP	Member
6	Team Phally	Deputy Director, PDOC	Member
7	Bun Chrib	Deputy Director, PDLVT	Member
8	Tob Thoeun	Deputy Director, PDISTI	Member
9	Chhun Sophoan	Chief Office of PDWA	Member
10	Luy Ratana	Chief Office of PDWA	Member
11	Pot Saroeut	Chief Office of PDRD	Member
12	Siep San	Chief Office of PDOP	Member
13	Phouern Sokna	Chief Office of PDISTI	Member
14	Nan Mao	Chief Office of PDWA	Member
15	Long Vansak	Chief Office of PDOP	Member
16	Koy Phally	Vice Chief Office of PDOC	Member
17	Luch Kunthea	Vice Chief Office of PDWA	Member
18	Peanh Makara	Vice Chief Office of PDWA	Member
19	Prum Sopheap	Vice Chief Office of PDAFF	Member
20	Kean Seryvuth	Vice Chief Office of PDRD	Member
21	Ly Chanthorn	Vice Chief Office of PDLVT	Member
22	Heang Puthera	Vice Chief Office of PDLVT	Member
23	Long Somavatey	Vice Chief Office of PDISTI	Member
24	Chea Syavy	Vice Chief Office of PDOT	Member
25	Bor Bun	Officer of PDAFF	Member
26	Sok Pylot	Officer of PDOT	Member
27	Ngeth Chan Rathanak	Officer of PDOP	Member
28	So Pola	Officer of PDOC	Member
29	Cheim Soram	Officer of PDLVT	Member
30	Lach Voucheng	Officer of Provincial Administrative	Member
31	Long Dany	Vice Chief Office of PDWA	Member (WDC)
32	Mao Samoeurn	Officer of PDWA	Member (WDC)

1-4-3 Kampong Thom 州の WEE-WG メンバー

No	名前	役職	WEE-WG での役割
WEE Working Group			
1	Lum Kuntheary	Deputy Governor	Chair
2	Sok Chanthou	WCCC chair	Deputy
3	Sin Sipphan	Director, PDWA	Deputy
Technical Working Group/Secretariat			
1	Sin Sipphan	Director, PDWA	Chair
2	Chhor Biengkong	Deputy Director, PDAFF	Deputy
3	Chou Bunry	Deputy Director, PDOP	Member
4	Pov Vanna	Deputy Director, PDISTI	Member
5	Yin Bunroth	Deputy Director, PDLVT	Member
6	Plong Salon	Deputy Director, PDRD	Member
7	Heav Chanry	Deputy Director, PDWA	Member
8	Sin Kimheang	Deputy Director, PDOT	Member
9	Ly Reaksmey	Chief Office, PDOC	Member
10	Hun Sam At	Chief Office, PDWA	Member
11	Men Chanthoeun	Chief Office, PDAFF	Member
12	Neang Sopheak	Chief Office, PDLVT	Member
13	Yin Riyong	Chief Office, PDLVT	Member
14	Ros Kimchhay	Chief Office, PDISTI	Member
15	Peav Theary	Deputy Director, PDOC	Member
16	Em Sok Leng	Chief Office, PDOP	Member
17	Sou Pharin	Chief Office, PDWA	Member
18	Kim Chanthou	Chief Office, PDOT	Member
19	Hun Kotal	Vice Chief Office, PDAFF	Member
20	Huon Chenda	Vice Chief Office, PDWA	Member
21	Tann Mulika	Vice Chief Office, PDRD	Member
22	Van Sarorn	Officer, PDOP	Member
23	Tann Saimeng	Officer, PDRD	Member
24	Koy Koeun	Officer, PDOC	Member
25	Koung Kosal	Officer, PDISTI	Member
26	Sor Saysambor	Officer, PDOT	Member

1-4-4 Tboung Khmum 州の WEE-WG メンバー

No	名前	役職	WEE-WG での役割
WEE Working Group			
1	Leng Sokha	Member of Provincial Councilor	Chair
2	Kiev Samuon	WCCC chair	Deputy
3	Ny Chan Thida	Deputy Governor	Deputy
4	Thorn Kimsron	Director, PDWA	Deputy
Technical Working Group/Secretariat			
1	Thorn Kimsron	Director, PDWA	Chair
2	Kong Simen	Deputy Director, PDWA	Deputy
3	Um Veasna	Director, PDLVT	Member
4	Toch Sakorn	Director, PDOC	Member
5	Hor Lenghong	Deputy Director, PDOC	Member
6	Sun Sarath	Deputy Director, PDAFF	Member
7	Chheng Chhunmy	Deputy Director, PDISTI	Member
8	Pha Leakhena	Deputy Director, PDOP	Member
9	Chin Vibol	Deputy Director, PDLVT	Member
10	Pech Chordaphea	Chief Office, PDWA	Member
11	Phon Lanita	Chief Office, PDWA	Member
12	Chhing Chun	Chief Office, PDLVT	Member
13	Chhoam Sreymao	Chief Office, PDAFF	Member
14	Chhem Chanraksmeay	Chief Office, PDRD	Member
15	Reth Rattana	Chief Office, PDOP	Member
16	An Darika	Chief Office, PDOC	Member
17	Dav Chanly	Vice Chief Office of PDLVT	Member
18	Aun Sinean	Vice Chief Office, PDRD	Member
19	Lang Sithaoun	Technical Staff of PDISTI	Member
20	Kan Sophun	Technical Staff of PDOP	Member
21	Chroeng Sothea	Technical Staff, PDAFF	Member

1-4-5 Kampong Cham 州の WEE-WG メンバー

No	名前	役職	WEE-WG での役割
WEE Working Group			
1	Anheng Leakhena	WCCC chair	Chair
2	Pang Dany	Deputy Governor	Deputy
3	Seang Van Leakhena	Director, PDWA	Permanent member
Technical Working Group/Secretariat			
1	Seang Van Leakhena	Director, PDWA	Chair
2	Dok Linda	Deputy Director, PDWA	Deputy
3	Cheng Heang	Director, PDLVT	Member
4	Ing Visoth	Director, PDRD	Member
5	Chheang Borin	Director, PDOC	Member
6	Sim Thavireak	Director, PDAFF	Member
7	Be Buntha	Director, PDOP	Member
8	You Sok Ann	Deputy Director, PDOP	Member
9	Pan Phallin	Deputy Director, PDRD	Member
10	Uy Sokna	Deputy Director, PDOC	Member
11	Pich Chanthay	Deputy Director, PDISTI	Member
12	Mao Vanthan	Chief Office, PDAFF	Member
13	Chi Kheng	Chief Office, PDWA	Member
14	Lorn Sophal	Vice Chief Office, PDAFF	Member
15	Heng Bo	Chief Office, PDISTI	Member
16	Im Pisey	Chief Office, PDOP	Member
17	Kun Socheat	Vice Chief Office, PDWA	Member
18	Theam Kimhour	Officer, PDWA	Member
19	Som Vuthy	Officer, PDLVT	Member
20	Huern Sreypov	Officer, PDISTI	Member
21	Bun Sokhom	Officer, PDWA	Member

1-5-1 調達機材

No.	機材名	規格・品番	価格 (USD)	調達日	使用者
1	Laptop	Lenovo Thinkpad E470	620	2017/3/5	MOWA (Project office)
2	Printer	Fuji Xerox DocuCentre SC2020	2650	2017/3/15	MOWA (Project office)
3	Laptop	Lenovo ThinkPad E450	485	2017/4/5	MOWA (Project office)
4	Laptop	Lenovo IdeaPad Yoga 500	550	2017/4/5	MOWA (Project office)
5	Laptop	Dell OptiPlex 3050MT	1,015	2017/6/12	MOWA (Project office)
6	Laptop	Dell Latitude 3480	770	2017/6/30	MOWA (Project office)
7	Laptop	NB ASUS A411UA-EB211T	701	2018/12/6	PDWA (Kampong Chhnang)
8	Laptop	NB ASUS A442UQ-FA044T 3F Red	690	2019/7/29	PDWA (Siem Reap)
9	Laptop	NB ASUS VivoBook S ultrathin S530FN-BQ117T	859	2019/7/29	MOWA (Project office)
10	Laptop	NB ASUS X412FL-EB274T 8S-Transparent Silver	860	2020/6/30	PDWA (Kampong Thom)
11	Laptop	NB ASUS X412FL-EB274T 8S-Transparent Silver	860	2020/6/30	PDWA (Thbounng Khmum)
12	Projector	Sony EX450 VPL -EX450	505	2020/11/25	MOWA (Project Office)
13	Video conference system	Logitech Group for Video Conference (960-001054) FHD 2114LZ50H8J8	1,000	2021/7/7	MOWA (Project Office)
14	Laptop	ASUS Vivobook K513E	845	2022/4/5	PDWA (Kampong Cham)
15	Printer	HP Color LaserJet Pro MFP M282nw(21 ppm) Printer	460	2022/10/8	MOWA (Project office)

1-5-2 調達物品（消耗品）

No.	機材名	規格・品番	価格 (USD)	調達日	使用者
1	Cabinet	Double doors cabinet, Eagle	140	2019/2/15	Project Office (MoWA)
2	UPS	APC APC Smart-UPS C 1500VA LCD 230V	365	2019/3/27	Project Office (MoWA)
3	Air conditioner	Panasonic	240	2019/2/8	PDWA (Kampong Chhnang) *Disposed July 3, 2019 due to malfunction
4	Air conditioner	Panasonic	325	2019/6/10	PDWA (Kampong Chhnang)
5	Printer	HP LaserJet Pro M203	195	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
6	Office	-	130	2019/7/16	PDWA

	Cabinet (tall)				(Siem Reap)
7	Office Cabinet (short)	-	110	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
8	Desk with drawer	-	125	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
9	Desk without drawer	-	75	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
10	Extension code	-	13	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
11	Chair	-	35	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
12	Chair	-	35	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
13	Plastic Chair	-	4.5	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
14	Plastic Chair	-	4.5	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
15	Plastic Chair	-	4.5	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
16	Plastic Chair	-	4.5	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
17	Plastic Chair	-	4.5	2019/7/16	PDWA (Siem Reap)
18	Camera	Canon	359	2019/10/25	PDWA (Siem Reap)
19	Portable wifi	Smart@Home	36	2020/3/4	MOWA (Project Office)
20	Camera	Canon	329	2020/11/25	MOWA (Project Office)

添付資料1-6 研修・会議の記録

1-6-1 省庁との会議

	日付 (日/月/年)	省庁	トピック	参加者数				
				女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を 除く)	その他
NCDD								
1	23/07/2019	NCDD	Implementation monitoring of the National Program for Sub-National Democratic Development (SNDD) from a gender perspective	0	6	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
2	24/07/2019	NCDD	Gender mainstreaming at the sub-national level and possibilities of PGMWEE's contribution	0	5	0	0	3 JICA Advisory Mission members 2 JICA Cambodia Office Staff 2 Japanese Experts 1 Project Staff
3	21/09/2021	NCDD	Action plan and monitoring of the Policy on Promotion of Gender Equality for Sub-National Democratic Development (SNDD)	1	2	0	0	1 Project Staff
4	15/07/2022	NCDD	Status of implementation of the Gender Equality Policy for SNDD Action Plan and possibilities of the use of PGMWEE outputs	0	2	0	0	1 Project Staff 2 Japanese Experts
Ministry of Tourism (MOT)								
1	13/05/2022	MOT, MOWA	Meeting on promotion video shooting in SRP	3	1	1	1	1 Project staff 1 Japanese expert
2	08/06/2022	MOWA, MOT	Inquiry on MOT's Community-Based Tourism (CBT) development programs/mechanisms	2	4	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
3	10/08/2022	MOWA, MOT	Inquiry on the National Ecotourism Committee (NEC) and Forum	4	2	0	0	2 Project Staff 2 Japanese Experts
4	24/08/2022	MOWA, MOT	Planning for "Social Media Training for Tourism Promotion" provided by MOT, targeting Khnar Po and Kampong Phluk CBT women	6	5	0	0	2 Project Staff 2 Japanese Experts
5	30/08/2022	MOWA	Internal meeting to assess the possibility of MOWA's integration into the NEC and development of the Joint Action Plan	6	0	0	0	2 Project Staff 2 Japanese Experts
6	06/09/2022	MOWA	Meeting with Director General Hak and KPT and SRP PDWAs to agree on developing a Joint Action Plan with NEC	8	0	10	0	3 Project Staff 3 Japanese Experts
7	20/09/2022	MOWA, MOT	Coordination for MOWA's participation in the National Ecotourism Forum and discussion on the feasibility of a Joint Action Plan	6	4	6	2	2 Project Staff 2 Japanese Experts
8	20/09/2022	MOWA	Workshop with KPT and SRP PDWAs to identify PGM-WEE activities/tools to incorporate into the Joint Action Plan	2	0	7	2	2 Project Staff 2 Japanese Experts
9	22/09/2022	MOT	Meeting for preparation of study tour in SRP	0	1	0	1	1 Project Staff 1 Japanese Expert
GMAP								
1	16/09/2021	MISTI	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff
2	16/09/2021	MRD	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff
3	17/09/2021	MOC	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
4	17/09/2021	MOT	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff
5	20/09/2021	MLVT	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
6	20/09/2021	MAFF	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff
7	21/09/2021	MOP	GMAP implementation monitoring	2	3	0	0	1 Project Staff
8	28/09/2022	MLVT	Integration of GMAP into Sector Plan	0	1	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
9	30/09/2022	MAFF	Integration of GMAP into Sector Plan	0	2	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
10	5/10/2022	MRD	Integration of GMAP into Sector Plan	0	2	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
11	7/10/2022	MOT	Integration of GMAP into Sector Plan	0	1	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert

1-6-2 SRP州での会議、研修

	日付 (日/月/年)	会議・研修の種類	トピック	参加者数				
				女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を除く)	その他
Provincial Gender Statistical Booklet (GSB)								
1	22/10/2021	Meeting	Meeting for preparation of GSB	6	0	4	3	2 Project staff 1 Japanese expert
2	11/04/2022	Meeting	Meeting GSB Preparation	8	0	0	0	3 Project staff 1 Japanese expert
3	12/04/2022	Meeting	Meeting GSB Preparation	8	0	0	0	3 Project staff 1 Japanese expert
4	21-22/04/2022	Training	GSB WS1	7	1	7	18	2 Project Staff 1 Japanese Expert
5	30-1/07/2022	Training	GSB WS2	6	1	7	20	2 Project Staff 1 Japanese Expert
6	15-16/8/2022	Training	GSB WS3	7	1	8	24	2 Project Staff 1 Japanese Expert
Pilot Activities								
Village Business School (VBS)								
1	25/06/2019	Activity in Village	1. Introduction	4	0	3	10	1 Project Staff 1 Japanese Expert
2	10-11/07/2019	Activity in Village	2. Gender (access and control)	3	0	1	15	1 Project Staff 1 Japanese Expert
3	16-17/07/2019	Activity in Village	3. Business analysis (4P)	4	0	3	11	1 Project Staff 1 Japanese Expert
4	12-13/9/ 2019	Activity in Village	4. Profit	3	0	2	16	1 Project Staff 1 Japanese Expert
5	1/10/2019	Activity in Village	Discussion with commune and group leader	5	0	4	0	2 Project Staff 1 Japanese Expert
6	2/10/2019	WEE-WG	WEE-WG, sharing results from KPP	5	0	3	8	2 Project Staff 1 Japanese Expert
7	1/11/2019	Activity in Village	5. Customer service	4	0	2	13	2 Project Staff
8	29/11/2019	Activity in Village	6. Production Plan	5	0	2	13	2 Project Staff 1 Japanese Expert
9	26/12/2019	WEE-WG	WEE-WG	9	0	4	14	2 Project Staff 1 Japanese Expert
10	27/12/2019	Activity in Village	7.1. Business environment: Hospitality	7	0	3	10	2 Project Staff 1 Japanese Expert
11	25/12/2019	Activity in Village	7.2 Business environment: 5S	6	0	2	13	1 Project Staff 1 Japanese Expert
12	24/06/2020	Activity in Village	5. Customer service	5	1	2	16	1 Project Staff 1 Japanese Expert
13	25/06/2020	Activity in Village	6. Production Plan	5	1	2	14	1 Project Staff 1 Japanese Expert
14	15/07/2020	Activity in Village	7.1. Business environment: Hospitality	5	1	3	14	1 Project Staff 1 Japanese Expert
15	16/07/2020	Activity in Village	7.2 Business environment: 5S	5	1	3	14	1 Project Staff 1 Japanese Expert
16	14-15/01/2020	Activity in Village	8. Gender (WEE)	6	0	4	16	2 Project Staff 1 Japanese Expert
17	13-14/02/2020	Activity in Village	9. Value chain	5	0	2	17	2 Project Staff 2 Japanese Experts
18	12-13/08/2020	Activity in Village	10. Promotion	5	1	2	13	2 Project Staff
19	21-22/10/2020	Activity in Village	11. Gender (Value Chain)	4	0	3	15	3 Project Staff 1 Japanese Expert
20	19-20/01/2021	Activity in Village	12. Business plan	4	0	3	16	2 Project Staff
21	21/01/2021	WEE-WG	WEE-WG (next activity)	6	0	3	13	2 Project Staff
22	16-17/02/2021	Activity in Village	1st Monitoring of pilot activity	6	0	3	16	1 Project Staff
Preparation of follow-up activities								
1	06/09/2021	Meeting	Meeting for preparation of WEE-WG meeting in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
2	14/09/2021	WEE-WG	WEE-WG on monitoring, GSB and pilot activity	7	0	5	18	3 Project staff 4 Japanese experts
3	28/10/2021	Meeting	Meeting on Pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 2 Japanese experts
Follow-up activities (Tourism Promotion)								
1	15/11/2021	Meeting	Meeting on Workshop 1 in KNP-CBT of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
2	23/11/2021	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 1 in KNP-CBT	6	2	7	11	2 Project Staff
3	24-25/11/2021	Activity in Village	Workshop 1 in KNP-CBT	6	2	5	10	2 Project Staff
4	25/11/2021	Meeting	Reflection meeting for Worskhop 1 in KNP-CBT	6	2	4	8	2 Project Staff

5	17/12/2021	Meeting	Meeting on Workshop 1 in KPP-CBT of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
6	06/01/2022	Meeting	Meeting on Workshop 1 in KPP-CBT of pilot activity in SRP	5	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
7	12/01/2022	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 1 in KPP-CBT	7	2	8	16	3 Project Staff
8	13-14/01/2022	Activity in Village	Workshop 1 in KPP-CBT	7	2	7	15	3 Project Staff
9	14/01/2022	Meeting	Reflection meeting for Workshop 1 in KPP-CBT	7	2	7	12	3 Project Staff
10	27/01/2022	Meeting	Meeting on Workshop 2 in KNP-CBT and KPP-CBT of pilot activity in SRP	5	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
11	2022/3/2	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 2 in KNP-CBT and KPP-CBT	5	1	6	15	2 Project Staff
12	4-5/02/2022	Activity in Village	Workshop 2 in KNP-CBT	5	1	5	12	2 Project Staff
13	7-8/02/2022	Activity in Village	Workshop 2 in KPP-CBT	5	1	5	14	3 Project Staff
14	2022/8/2	Meeting	Reflection meeting for Workshop 2 in KNP-CBT and KPP-CBT	5	1	4	10	2 Project Staff
15	09/03/2022	Meeting	Meeting on Workshop 3 of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
16	15/03/2022	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 3 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	6	13	2 Project Staff
17	16-17/03/2022	Activity in Village	Workshop 3 in KNP-CBT	6	1	7	13	2 Project Staff
18	18-19/03/2022	Activity in Village	Workshop 3 in KPP-CBT	6	1	8	11	2 Project Staff
19	19/03/2022	Meeting	Reflection meeting for Workshop 3 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	7	13	2 Project Staff
20	18/04/2022	Meeting	Meeting on Workshop 4 of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
21	15/04/2022	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 4 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	7	14	1 Project Staff
22	26-27/04/2022	Activity in Village	Workshop 4 in KNP-CBT	6	1	7	14	1 Project Staff
23	28-29/04/2022	Activity in Village	Workshop 4 in KPP-CBT	6	1	6	14	1 Project Staff
24	29/04/2022	Meeting	Reflection meeting for Workshop 4 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	5	15	1 Project Staff
25	13/05/2022	Meeting	Meeting on promotion video shooting in SRP	3	1	1	1	1 Project staff 1 Japanese expert
26	16-17/05/2022	Activity in Village	Video Shooting in KPP-CBT	3	1	1	1	1 Project Staff
27	18/05/2022	Activity in Village	Video Shooting in KNP-CBT	3	1	1	1	1 Project Staff
28	06/06/2022	Meeting	Meeting on Workshop 5 of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 2 Japanese experts
29	09/06/2022	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 5 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	6	14	1 Project staff 1 Japanese expert
30	10-11/06/2022	Activity in Village	Workshop 5 in KNP-CBT	6	1	7	15	1 Project Staff 1 Japanese Expert
31	13-14/06/2022	Activity in Village	Workshop 5 in KPP-CBT	6	1	6	15	1 Project Staff 1 Japanese Expert
32	14/06/2022	Meeting	Reflection meeting for Workshop 5 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	1	5	11	1 Project Staff
33	15/06/2022	WEE-WG	WEE-WG (sharing the WS1-5 and WS6 what we are going to do)	7	1	7	18	2 Project Staff 1 Japanese Expert
34	15/06/2022	Meeting	WEE technical meeting	5	1	6	2	1 Project Staff 1 Japanese Expert
35	04/07/2022	Meeting	Meeting on Workshop 6 of pilot activity in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
36	11/07/2022	Meeting	Technical meeting (Training of Trainers) for Workshop 6 in KNP-CBT and KPP-CBT	6	2	7	18	1 Project staff 1 Japanese expert
37	12-13/07/2022	Activity in Village	Workshop 6 in KPP-CBT	6	2	8	16	1 Project Staff 1 Japanese Expert
38	14-15/07/2022	Activity in Village	Workshop 6 in KNP-CBT	6	2	8	15	1 Project staff 1 Japanese expert
39	15/07/2022	Meeting	Reflection meeting for Workshop 6 and follow-up stage in KNP-CBT and KPP-CBT	6	2	7	13	1 Project staff 1 Japanese expert
40	19/07/2022	Meeting	Meeting with chair and vice-chair of WEE-WG in SRP, Director of Economic Development Department and Planning and Statistics Department on activities after the pilot stage in SRP	2	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
41	24/07/2022	Meeting	Workshop with FPs and PDWA on activities after pilot stage in SRP	5	0	4	0	1 Project staff 1 Japanese expert
42	11/08/2022	Meeting	Meeting for preparation of WEE-WG meeting in SRP	5	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
43	17/08/2022	WEE-WG	WEE-WG on GSB, WS3 and video and leaflet	7	0	4	15	2 Project Staff 2 Japanese Experts

44	23/08/2022	Meeting	Meeting for preparation of study tour in SRP	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
45	26/08/2022	Meeting	Meeting for preparation of study tour in SRP	5	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
46	30/08/2022	Meeting	Internal meeting to assess the possibility of MOWA's integration into the NEC and development of the Joint Action Plan	6	0	0	0	2 Project Staff 2 Japanese Experts
47	06/09/2022	Meeting	Meeting with Director General Hak and KPT and SRP PDWAs to agree on developing a Joint Action Plan with NEC	8	0	10	0	3 Project Staff 3 Japanese Experts
48	06/09/2022	Meeting	Meeting for preparation of study tour in SRP	5	0	4	0	1 Project staff 1 Japanese expert
49	12-15/09/2022	Training	Social Media training for KNP-CBT and KPP-CBT	6	7	8	16	1 Project Staff 1 Japanese Expert
50	20/09/2022	Meeting	Workshop with KPT and SRP PDWAs to identify PGM-WEE activities/tools to incorporate into the Joint Action Plan	2	0	7	2	2 Project Staff 2 Japanese Experts
51	03/10/2022	Activity in Village	Study Tour in Tbeng Kulen Community for KNP-CBT	7	2	5	10	2 Project Staff 1 Japanese Expert
52	04/10/2022	Meeting	Meeting with PODT for sharing about PGM-WEE, planning CBT activities for 2023 and CBT promotion	0	0	0	3	1 Project Staff 1 Japanese Expert
53	05/10/2022	WEE-WG	WEE-WG on PGM-WEE and agreement on PR Videos	7	0	4	12	3 Project Staff 2 Japanese Experts
54	11/10/2022	Meeting	Meeting JAP	5	0	2	2	1 Project Staff 1 Japanese Expert
55	30/10/2022	Meeting	Internal meeting for NE Forum & Committee	6	0	0	0	1 Project staff 1 Japanese expert
Gender Mainstreaming Workshop								
1	30/09/2022	Training	Gender Training	5	0	0	0	1 Project Staff 1 Japanese Expert
2	04-05/10/2022	Training	Gender Mainstreaming Workshop	7	0	4	12	3 Project Staff 2 Japanese Experts
Case Study								
1	04/06/2022	Meeting	Case Study Meeting	5	0	0	0	2 Project staff 1 Japanese Expert
2	07-08/07/2022	Activity in Village	Case Study	6	0	4	18	2 Project Staff 1 Japanese Expert
Extra Activity 2 of Covid-19								
1	27/11/2020	Activity in Village	Hygiene Management Seminar in KNP-CBT	2	8	1	1	1 Project Staff
2	28/11/2020	Activity in Village	Hygiene Management Seminar in BCH	2	8	1	1	1 Project Staff
3	29/11/2020	Activity in Village	Hygiene Management Seminar in KPP-CBT	2	8	1	1	1 Project Staff
4	06-07/11/2021	Activity in Village	Follow up activity of Hygiene Management Seminar, activity 2 in KPT& SRP	2	8	2	2	1 Project Staff

	日付 (日/月/年)	会議・研修の種類	トピック	参加者数				
				女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を除く)	その他
Provincial Gender Statistical Booklet								
1	14-15/11/2019	Workshop	First Gender Statistics Workshop	4	1	3	21	2 project staffs 1 Japanese expert
2	18-19/02/2020	Workshop	Second Gender Statistics Workshop	4	1	3	23	2 project staffs 1 Japanese expert (online)
3	30/11/2020-01/12/2020	Workshop	Third Gender Statistics Workshop	4	1	2	21	2 project staffs 1 Japanese expert (online)
4	09/10/2021	Workshop	Launching workshop	4	1	3	23	1 project staff (online) 1 Japanese expert (online)
Pilot Activities								
1	20-22/03/2018	Scale up project	Rapid Feasibility Survey in KCH_20180319	6	0	3	12	2 project staffs 1 Japanese expert
2	09/05/2018	Scale up project	Gender Training for local authority	3	0	3	14	1 project staff 1 Japanese expert
3	28-30/22/2018	Scale up project	TOT training	3	0	3	22	3 trainers from KPC 2 project staffs 1 Japanese expert
4	04-05/12/2018	Scale up project	Introduction Workshop	4	0	3	16	3 trainers from KPC 2 project staffs 1 Japanese expert
5	14-17/01/2019	Scale up project	Baseline Survey	5	0	3	18	2 project staffs 1 Japanese expert
6	28-29/01/2019	Scale up project	Technical raining on hicken raising (1) + market information	3	0	2	13	2 project staffs
7	12-13/02/2019	Scale up project	Technical training on business planning + business capital and saving	3	0	3	17	2 project staffs 2 Japanese Experts
8	27-28/03/2019	Scale up project	Technical training on chicken raising (2) + 5S practice	4	0	3	14	2 project staffs
9	08-09/04/2019	Scale up project	Technical training on chicken raising (3)	4	0	3	13	2 project staffs
10	24-25/04/2019 and 02-03/05/2019	Scale up project	1st Monitoring Data Collection and Analysis	4	0	4	17	2 project staffs 1 Japanese expert
11	16-17/05/2019	Scale up project	Technical training on chicken raising (4)	3	0	3	12	2 project staffs
12	20-21/06/2019	Scale up project	Technical training on chicken raising (5)	4	0	2	14	2 project staffs
13	30/06/2019	Scale up project	1st Gender Training	4	0	4	15	2 project staffs
14	14/07/2019	Scale up project	2nd Gender Training	4	0	4	15	2 project staffs 1 Japanese expert
15	25-26/07/2019	Scale up project	Business Planning	4	0	3	14	2 project staffs
16	08/08/2019	Field Visit	Field Visit	4	0	3	15	2 project staffs 27 farmers
17	22-23/08/2019	Scale up project	Record Keeping and Business Capital	4	0	3	14	2 project staffs
18	27-30/08/2019	Scale up project	2nd Monitoring Data Collection and Analysis	4	0	3	18	2 project staffs 1 Japanese expert
19	08/09/2019	Scale up project	3rd Gender Training	4	0	4	15	2 project staffs 1 Japanese expert
20	16-17/10/2019	Scale up project	Follow up session	2	0	3	14	2 project staffs 1 Japanese expert
21	30-31/10/2019	Scale up project	Business Matching	3	0	3	15	2 project staffs
22	23-24/12/2019	Scale up project	Case Study Session	4	0	3	14	2 project staffs 1 Japanese expert
23	11-17/01/2020	Scale up project	End-Line Survey	5	0	3	20	2 project staffs 1 Japanese expert
Gender Mainstreaming Workshop								

1	04-05/11/2021	Follow-up-activity	First Gender Mainstreaming Workshop	3	0	3	13	1 project staff 1 Japanese expert (Online)
2	27-29/04/2022	Follow-up-activity	Second Gender Mainsreaming Workshop	4	0	3	12	1 project staff 1 Japanese expert (Online)
3	28-29/06/2022	Follow-up-activity	Third Gender Mainstreaming Workshop	4	0	3	14	1 project staff 1 Japanese expert (Online)
4	24-25/08/2022	Follow-up-activity	Monitoring	4	0	3	12	1 project staff
5	01/09/2022	Follow-up-activity	Gender Advocacy and report writing	4	0	3	21	1 project staff 1 Japanese expert 9 WCCC members
6	02/09/2022	Meeting	WEE-WG meeting	4	0	3	20	1 project staff 1 Japanese expert

1-6-4 KPT州での会議、研修

	日付 (日/月/年)	会議・研修の種類	トピック	参加者数				
				女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を除く)	その他
Provincial Gender Statistical Booklet								
1	25-26/03/2019	Workshop	1st Gender Statistics Workshop	5	1	4	21	2 project staffs 1 Japanese expert
2	03-04/07/2019	Workshop	2nd Gender Statistics Workshop	5	1	4	19	2 project staffs 16 other relevant PDs
3	04-05/11/2019	Workshop	3rd Gender Statistics Workshop	5	1	5	17	2 project staffs 14 other relevant PDs
Pilot Activities								
1	21-22/10/2019	Pilot Activity	1st Site Visited to see women enterprisers / women business owners of handicraft	5	2	5	22	2 project staffs 1 Japanese expert
2	12-13/12/2019	Pilot Activity	2nd Site Visited	5	3	4	21	2 project staffs 1 Japanese expert
3	25-27/02/2020	Pilot Activity	Rapid feasibility survey	6	4	3	22	2 project staffs 1 Japanese expert
4	29-31/07/2020	Pilot Activity	Planning workshop	5	0	5	19	3 project staffs 1 Japanese expert
5	02-03/02/2021	Pilot Activity	PDM and PO Preparation Workshop	5	0	4	20	2 project staffs 1 Japanese expert
6	01-04/11/2021	Pilot Activity	Registration Activity	2	0	4	4	PDWA,PDAFF, PDISTI
7	07-09/12/2021	Pilot Activity	TOT training	4	0	5	21	3 tariners from KPC 3 trainers from KCH 2 project staffs 1 Japanese expert (online)
8	26-27/01/2022	Pilot Activity	1st Gender Training and introduction workshop	5	0	4	16	1 project staff 1 Japanese expert 1 Trainer from KPC
9	17/02/2022-03/03/2022	Pilot Activity	Technical Training (Handicraft)	3	0	4	6	2 project staffs
10	23-24/02/2022	Pilot Activity	1st Technical Training (Vegetables Growing)	4	1	4	16	1 project staffs 1 Trainer from KPC
11	17-18/03/2022	Pilot Activity	Saving group and business plan	4	2	4	16	1 project staff
12	22-23/03/2022	Pilot Activity	2nd Technical Training (Vegetables Growing)	0	0	4	7	(Only PDAFF, PDWA, PDOP)
13	29-30/03/2022	Pilot Activity	2nd Gender Training and Record Keeping	4	0	5	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
14	04-05/04/2022	Pilot Activity	3rd Technical Training (Vegetables Growing)	3	0	5	18	1 Trainer from KPC
15	18-19/04/2022	Pilot Activity	4t Technical Training (Vegetables Growing)	0	0	4	7	(Only PDAFF, PDWA, PDOP)
16	26-27/04/2022	Pilot Activity	3rd Gender Training and Market Information	4	0	5	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
17	02-05/05/2022	Pilot Activity	Monitoring	4	0	5	18	2 project staffs 1 Japanese expert

18	11-12/05/2022	Pilot Activity	5S, packaging training and sales contract	4	0	5	17	1 project staff
19	18-19/05/2022	Pilot Activity	Hospitality and tablet distribution & photography	4	1	5	18	1 project staff
20	15-16/06/2022	Pilot Activity	4th Gender Training and Financial management & Credit services	4	0	5	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
21	21-22/06/2022	Pilot Activity	5th Technical Training (Vegetables Growing)	0	0	4	7	(Only PDAFF, PDWA, PDOP)
22	29-30/06/2022	Pilot Activity	6th Technical Training (Vegetables Growing)	3	0	5	18	1 Trainer from KPC
23	05-06/07/2022	Pilot Activity	Case study session	4	0	5	18	2 Project staffs 1 Japanese expert
24	15-16/09/2022	Pilot Activity	Gender Training (refreshment)	4	0	5	17	1 project staff 1 Trainer from KPC
25	30/09/2022	Pilot Activity	Photography and tablet utilization (refreshment)	6	0	4	6	1 Project staff 2 Trainers from MoWA
Gender Mainstreaming Workshop								
1	06-07/10/2022	Workshop	Gender mainstreaming workshop included advocacy and report writing	5	0	5	16	2 Project staffs 2 Japanese expert 19 WCCC members
2	07/10/2022	Meeting	WEE-WG	5	0	5	16	2 Project staffs 2 Japanese expert 19 WCCC members

1-6-5 TBK州での会議、研修

	日付 (日/月/年)	会議・研修の 種類	トピック	参加者数				
				女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を 除く)	その他
Provincial Gender Statistical Booklet								
1	28-29/03/2019	Workshop	1st Gender Statistics Workshop	6	1	4	20	2 Project staffs 1 Japaness expert
2	26-27/06/2019	Workshop	2nd Gender Statistics Workshop	5	1	4	18	2 Project staffs 9 relevant PDs
3	21-22/08/2019	Workshop	3rd Gender Statistics Workshop	5	1	4	19	1 Project staff 11 relevant PDs
4	10/06/2020	Workshop	Launching workshop	5	1	4	17	1 Project staff
Pilot Activities								
1	08-09/10/2019	Pilot Activity	1st Site visited	3	0	2	6	1 Project staff 1 Japaness expert
2	19-20/12/2019	Pilot Activity	2nd Site visited	4	0	2	13	2 Project staffs
3	23-25/01/2020	Pilot Activity	Rapid feasibility survey	4	3	4	18	2 Project staffs
4	07-09/09/2020	Pilot Activity	Planning Workshop	5	0	4	18	1 Project staff 1 Japaness expert
5	28-29/01/2021	Pilot Activity	PDM and PO workshop	4	0	4	17	1 Project staff 1 Japaness expert (online)
6	25-28/10/2021	Pilot Activity	Registration Activity	4	0	4	3	PDWAand PDAFF
7	24-26/11/2021	Pilot Activity	TOT training	5	0	4	18	3 tariners from KPC 3 trainers from KCH 2 project staffs
8	18-19/01/2022	Pilot Activity	1st Gender Training and introduction workshop	5	0	4	18	1 project staff 1 Japanese expert 1 Trainer from KPC
9	26-28/01/2022	Pilot Activity	1st technical training on vegetable growing	5	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
10	02-04/02/2022	Pilot Activity	1st technical training on chicken raising	5	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
11	16-18/02/2022	Pilot Activity	2nd technical training on vegetable growing	0	0	4	7	PDWA, PDAFF, PDOP
12	23-25/02/2022	Pilot Activity	3rd technical training on vegetable growing	4	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
13	8/02/2022-02/03/2022	Pilot Activity	2nd technical training on chicken raising	0	0	4	6	PDWA, PDAFF, PDOP
14	09-11/03/2022	Pilot Activity	Saving group and business plan	5	0	4	19	1 project staff 1 Trainer from KPC
15	15-17/03/2022	Pilot Activity	4th technical training on vegetable growing	0	0	4	6	PDWA, PDAFF, PDOP
16	23-24/03/2022	Pilot Activity	2nd gender training and record keeping	5	1	4	19	1 project staff 1 Trainer from KPC
17	29-31/03/2022	Pilot Activity	3rd technical training on chicken raising	4	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
18	07-08/04/2022	Pilot Activity	3rd gender training and market information	5	1	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC

19	19-21/04/2022	Pilot Activity	5th technical training on vegetable growing	0	0	4	6	PDWA, PDAFF, PDOP
20	25-28/04/2022	Pilot Activity	Monitoring	5	3	4	18	1 project staff 2 Japanese expert
21	04-06/05/2022	Pilot Activity	5S and Packaging	5	0	4	17	1 project staff
22	11-13/05/2022	Pilot Activity	4th technical training on chicken raising	0	0	4	6	PDWA, PDAFF, PDOP
23	15-17/06/2022	Pilot Activity	4th Gender Training and Financial management & Credit services	5	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
24	21-23/06/2022	Pilot Activity	6th technical training on vegetable growing	0	0	4	6	PDWA, PDAFF, PDOP
25	28-30/06/2022	Pilot Activity	5th technical training on chicken raising	5	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
26	06-08/07/2022	Pilot Activity	7th technical training on vegetable growing	5	0	4	18	1 project staff 1 Trainer from KPC
27	13-14/07/2022	Pilot Activity	Case study session	4	0	4	18	2 project staffs 1 Japanese expert
28	13-14/09/2022	Pilot Activity	Gender Training (refreshment)	4	0	4	18	2 project staffs 1 Trainer from KPC
29	20-21/09/2022	Pilot Activity	Business lanning and record keeping (refreshment)	4	0	4	18	2 project staffs 1 Trainer from KPC
Gender Mainstreaming Workshop								
1	10-11/10/2022	Workshop	Gender mainstreaming workshop included advocacy and report writing	4	0	6	17	2 project staffs 2 Japanese experts 16 WCCC members
2	10/10/2022	Meeting	WEE-WG	4	0	4	15	2 project staffs 2 Japanese experts

1-6-6 KPC州での会議、研修

参加者数								
	日付 (日/月/年)	会議・研修の種類	トピック	女性省	省庁	州女性局	州局 (女性局を除く)	その他
				Provincial Gender Statistical Booklet				
1	01-02/11/ 2021	Workshop	1st Gender Statistics Workshop	5	1	5	18	1 project staff 6 other relevant PDs 1 Japanese expert (online)
2	07-08/04/2022	Workshop	2nd Gender Statistics Workshop	5	1	4	19	1 project staff 6 other relevant PDs 1 Japanese expert (online)
3	09-10/06/2022	Workshop	3rd Gender Statistics Workshop	5	1	5	21	1 project staff 6 other relevant PDs 1 Japanese expert (online)
Gender Mainstreaming Workshop								
1	02-03/12/2021	Follow-up-activity	1st Gender Mainstreaming Workshop	5	0	5	23	1 project staff 1 Japanese expert (online)
2	10-11/02/2022	Follow-up-activity	2nd Gender Mainstreaming Workshop	4	0	4	22	1 project staff 1 Japanese expert (online)
3	07-08/07/2022	Follow-up-activity	3rd Gender Mainstreaming Workshop	4	0	5	23	1 project staff 1 Japanese expert (online)
4	03-05/08/2022	Follow-up-activity	Monitoring	4	0	4	12	1 project staff
5	30/08/2022	Follow-up-activity	Gender Advocacy and report writing	4	0	5	23	1 project staff 1 Japanese expert 16 WCCC members
6	08/31/2022	Meeting	WEE-WG meeting	4	0	4	21	1 project staff 1 Japanese expert

添付資料2 成果品一覧

報告書		言語
1	業務計画書（第2期）（共通仕様書の規定に基づく）	日本語
2	ワーク・プラン（第2期）	英語
3	Monitoring Sheet（共通仕様書の規定に基づく）	英語
4	業務進捗報告書	日本語
5	州レベルジェンダー主流化政策に係る情報整理報告書（中間レビュー調査報告書）	英語
6	業務完了報告書（第2期）	日本語、英語、クメール語（簡易版）
技術協力作成品		言語
1	現況調査報告書（パイロット活動実施前）（コンボンチュナン州1部、シェムリアップ州1部）	日本語、英語
2	現況調査報告書（パイロット活動実施後）（コンボンチュナン州1部、シェムリアップ州1部）	日本語、英語
3	州レベルにおける女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化ガイドライン（改訂版WEEガイドライン）	英語、クメール語
技術協力作成資料		言語
1	ジェンダー用語集	英語、クメール語
2	ジェンダー統計リーフレット	英語、クメール語
3	地方対象州のジェンダー統計ブックレット （コンボンチュナン州、コンボントム州、トボンクモム州、コンボンチャム州、シェムリアップ州）	英語、クメール語

Project Design Matrix (PDM)

Project Title : Project on Gender Mainstreaming for Women's Economic Empowerment (PGM-WEE)

Duration: 5 years

Project Area: Phnom Penh and 5 selected provinces

Target Group:

Direct Target – Officers (both at the national and sub-national levels) of the Ministry of Women's Affairs (MOWA)

Gender Mainstreaming Action Groups (GMAGs) and Gender Focal Points (both at the national and sub-national levels) of Partner Line Ministries:

Ministry of Planning (MOP), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), Ministry of Industry and Handicraft (MIH), Ministry of Commerce (MOC),

Ministry of Rural Development (MRD), Ministry of Labor and Vocational Training (MLVT), Ministry of Tourism (MOT)

Indirect Target – Women and men in the target provinces

Version: PDM 0 Date: 26 February 2016			Important Assumption	
Overall Goal	Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Women's economic empowerment (WEE) is promoted through gender-responsive programs and projects implemented by line ministries/departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA in all the 25 capital and provinces in Cambodia.		Gender-responsive programs and projects are planned and implemented by line ministries through improved PGM Methods workshops facilitated by MOWA/PDWA in all the 25 capital and provinces.	- Report about PGM Methods Workshops - Annual reports of WCCC	
Project Purpose Gender mainstreaming mechanisms are strengthened to promote women's economic empowerment (WEE) at the sub-national levels by the partner line ministries/departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA.	1	The "WEE Guidelines through Gender Mainstreaming at the Sub-national Levels" are authorized and distributed.	1 Published "WEE Guidelines through Gender Mainstreaming at the Sub-national Levels"	Decentralization and deconcentration processes is continuously gender-responsive.
	2	The scaling-up plans of gender mainstreaming mechanisms are integrated into the annual plan or Neary Rattanak (the Five Year Strategic Plan) of MOWA.	2 Annual plans and 5 th Neary Rattanak of MOWA	

he

Output 1. The capacity of MOWAPDWA is strengthened to promote women's economic empowerment (WEE) at the sub-national levels through gender mainstreaming mechanisms. 2. Gender mainstreaming mechanisms established by PGM2 is strengthened to promote women's economic empowerment (WEE) with market orientation in agriculture (chicken raising) at the sub-national levels in preparation for nation-wide diffusion and scaling-up.	1. 1-1. Networking among the stakeholders at the national and sub-national levels is established to promote WEE through TWG-G Sub-group on WEE. 1-2. 'Gender Terminology Booklet' is updated. 1-3. 'Gender Statistics Leaflet' is updated and provincial gender statistics is developed in the target provinces. 1-4. Revised PGM Methods Guidelines is developed to integrate gender-responsive value chain analysis. 1-5. 'WEE Guidelines through Gender Mainstreaming at the Sub-national Levels' is developed. 1-6. The partner line ministries/departments integrate the activities and advices which are proposed in the policy recommendations developed under Output 2 and Output 3 into their programs and projects through the promotion by MOWAPDWA. 1-7. The scaling-up plans of the gender mainstreaming mechanisms for WEE at the sub-national levels is developed by MOWA during the Project period for their implementation after the termination of the Project, which target the provinces other than the target provinces of the Project. 2. 2-1. The tools for the scaling-up activities on agriculture (chicken raising) is prepared based on the results of the gender-responsive socio-economic impact analysis of PGM2 and value chain analysis 2-2. Scaling-up activities are planned, implemented, monitored and evaluated by PDWA and partner provincial departments in the (XXX) provinces selected based on the criteria decided by MOWA. 2-3. Scaling-up activities are coordinated and	1.1. Minutes of meetings and reports of TWG-G Sub-group on WEE 1.2. Updated Gender Terminology Booklet 1.3. Updated 'Gender Statistics Leaflet', Developed provincial gender statistics 1.4. Revised PGM Method Guidelines 1.5. Developed 'WEE Guidelines through Gender Mainstreaming at the Sub-national Levels' 1.6. Revised GMAPs and annual action plans of partner line ministries, annual plans of WCCC of the target provinces 1.7. Developed scaling-up plan 2. 2.1. Developed tools (i.e. developed marketing manual on chicken raising) 2.2. Developed activity plan of MOWA, Reports about PGM Methods workshops 2.3. Minute of meetings and reports	GMAG members at the national and sub-national levels cooperate and participate in the Project activities.
--	---	---	--

By me

3. Gender mainstreaming mechanisms are established to promote women's economic empowerment (WEE) in tourism industries with market orientation at the sub-national levels through implementation of pilot projects.	2.4. Activities to maintain and expand the achievements of the scaling-up activities are integrated into the policies and activity plans of the partner line ministries/departments. 3. The pilot project activities are planned, implemented, monitored and evaluated by PDWA and partner provincial departments in the selected province. 3-1. 3-2. Networking between public and private sectors are established to strengthen marketing of the pilot projects through working group on WEE. 3-3. Results of various researches and studies on marketing are compiled, and tools are developed to strengthen marketing of the pilot projects. 3-4. Socio-economic status of women engaged in tourism industries is improved. Indicators will be decided based on the baseline survey conducted by the Project. 3-5. Activities to maintain and expand the achievements of the pilot projects are integrated into the policies and activity plans of the partner line ministries/departments.	of working groups on WEE 2.4. Annual plans and/or GMAPs of partner line ministries, Annual plans of WCCC of the target provinces 3. Reports about PGM Methods workshops 3.1. Reports about PGM Methods workshops 3.2. Minute of meetings and reports of working group on WEE 3.3. Reports of marketing research, Developed tools 3.4. Results of baseline and end-line survey 3.5. Annual plans and/or GMAPs of partner line ministries, Annual plans of WCCC of the target province
--	--	--

Activities (Preparation of the supporting setup at the national level) 1-1. The Project encourages the stakeholders in the private sectors (i.e. entrepreneurs, networks, universities, research institutions) to participate more actively in TWG-G Sub-group on WEE. The MOWA may establish an advisory board for WEE under TWG-G Sub-group on WEE, which is mainly consisted of stakeholders in the private sectors. 1-2. The stakeholders of the scaling-up activities and pilot projects at the sub-national levels (i.e. the chairs of working groups on WEE) share the achievements and challenges of the Project activities in the meeting of TWG-G Sub-group on WEE and receive advices from the members. 1-3. The members of the TWG-G Sub-group on WEE participate in the workshops, seminars and exchange visits related to the pilot projects and scaling-up activities at the sub-national levels. (Preparation of tools) 1-4. The MOWA updates 'Gender Terminology Booklet'. 1-5. The MOWA updates 'Gender Statistics Leaflet'. 1-6. Provincial gender statistics of the target provinces are developed based on the achievements of Output 2 and Output 3 by MOWA/PDWA with the support from MOPI/PDOP. 1-7. The PGM Methods Guidelines are revised integrating the gender-responsive value chain analysis method based on the achievements of the Output 2 and Output 3. 1-8. The Project develops the 'WEE Guidelines through Gender Mainstreaming at the Sub-national Levels' as improved comprehensive guidelines based on the achievements of the Output 2 and Outputs 3 by using the "Comprehensive Guidelines for WEE in Rural Areas" developed by PGM2 as reference. (The partner line ministries/departments) 1-9. The MOWA provides technical support to update and implement the GMAPs of partner line ministries as necessary. 1-10. The Project hold workshops on gender budgeting to the stakeholders of the partner line ministries. 1-11. The Project encourages the partner line ministries/departments to integrate the activities and advices which are proposed in the policy recommendations developed under Output 2 and Output 3 into their programs and projects.	Japanese Government: 1. Long-term experts (XXX persons) 2. Short-term experts 3. Seminars, Workshops and Trainings 4. Equipment	Cambodian Government: 1. Counterparts 2. Office space and facilities 3. Local Cost
--	---	---

- (Development of the scaling up plans)
- 1-12. The MOWA develops the scaling-up plans of the gender mainstreaming mechanisms for WEE at the sub-national levels for their implementation after the termination of the Project, which target the provinces other than the target provinces of the project.
- 1-13. The Project organizes a seminar to share the achievements, outcomes, best practices and lessons learned of the Project with all the stakeholders before the termination of the Project.
- 1-14. The Project organizes a regional seminar to share the achievements, outcomes, best practices and lessons learned of the Project with the ASEAN countries at an appropriate timing.
2. (Preparation of tools based on the achievements of PGM2)
- 2-1. The Project conducts gender-responsive socio-economic impact analysis of the chicken raising pilot project of PGM2 in Kampong Cham province.
- 2-2. The Project implements gender-responsive value chain analysis of chicken raising in Kampong Cham and compiles the methodology of the analysis.
- 2-3. The PDWA and partner provincial departments develop a monitoring plan of the chicken raising pilot project of PGM2 based on the result of 2-1 and 2-2, and restart monitoring of the activities.
- 2-4. The Project implements supplementary activities to follow-up the chicken raising pilot project of PGM2 based on the results of analysis conducted in 2-1 and 2-2 and monitoring conducted in 2-3.
- 2-5. A working group to coordinate and monitor the activities for WEE implemented by PDWA and the partner provincial departments (possibly called as 'working group on WEE') is established in collaboration with Women Children Consultative Committee (WCCC). The Project encourages stakeholders in the private sectors (i.e. entrepreneurs networks, universities, research institutions) to participate in the working group on WEE as the members.
- 2-6. The results of the monitoring conducted by PDWA and partner provincial departments in 2-3 are periodically shared to coordinate activities and discuss about the possible solutions at the meetings of the working group on WEE.
- 2-7. The Project revises the 'Monitoring Guidelines of Pilot Project' developed by PGM2 based on the monitoring activities conducted by PDWA and partner provincial departments under the coordination of working groups on WEE based on the activities of 2-5 and 2-6.

Precondition:

2-8. The Project develops a gender-responsive marketing manual on chicken raising targeting farmers based on the achievement of 2-1, 2-2, 2-3 and 2-4, which is complementary with the 'Technical Manual on Agricultural Production (chicken raising)' developed by PGM2.

(Preparation of the implementation of scaling-up activities)

2-9. The MOWA develops implementation plans for scaling-up activities which specify the target, schedule, budget and human resources during the Project period.

2-10. The MOWA defines the selection criteria for the target provinces of the scaling-up activities, and selects the target provinces accordingly. During the process of the selection, MOWA collects baseline data about the capacity of PDWA and partner provincial departments on gender mainstreaming in each target province.

2-11. The working groups on WEE are established in the selected provinces under WCCC. The Project encourages stakeholders in the private sectors (i.e. entrepreneurs networks, universities, research institution) to participate in the working group on WEE as members. The action plans of working groups on WEE are developed and integrated into the WCCC annual plans and provincial development plans.

(Planning of the scaling-up activities)

2-12. The PDWA and partner provincial departments conduct policy analysis and gender analysis based on the steps of PGM Methods (from step1 to step4) through PGM Methods workshops facilitated by MOWA/PDWA. The socio-economic baseline data is collected on the female/male farmers and their gender issues are identified in the target areas of the scaling-up activities.

2-13. The PDWA and partner provincial departments conduct gender-responsive value chain analysis based on the methodology developed in 2-2 through PGM Method workshop, which is considered as a complementary step to the PGM Methods.

2-14. The PDWA and partner provincial departments develop plans for scaling-up activities on agriculture (chicken raising) through PGM Methods workshop (step5) facilitated by MOWA/PDWA.

(Implementation and monitoring of the scaling-up activities)

2-15. The PDWA and partner provincial departments implement activities in respective sector based on the plans developed in 2-14.

2-16. The scaling-up activities are monitored based on the monitoring guidelines developed in 2-7 by PDWA and partner provincial departments. The results of the monitoring are periodically shared for coordinating activities and discussing about the possible solutions at the meetings of the working groups on WEE. The results of the meetings of the working groups on WEE

	are also shared in the monthly meetings of WCCC. (Feedback of the evaluation result of scaling-up activities) 2-17. The PDWA and partner provincial departments conduct evaluation study on the scaling-up activities, including gender impact analysis based on the baseline data collected in 2-12 through PGM Methods workshop (step8) facilitated by MOWA/PDWA. 2-18. The PDWA and partner provincial departments develop policy recommendations based on the results of evaluation study conducted in 2-17 through PGM Methods workshop (step9) facilitated by MOWA/PDWA. 2-19. The partner provincial departments share the policy recommendations developed in 2-18 with WCCC and TWG-G Sub-group on WEE and propose them to be integrated into their policies and plans. The MOWA/PDWA provide them with necessary information about resource mobilization and gender budgeting. 3. (Please the setup to implement the pilot projects in tourism industries) 3-1. The working group on WEE is established in the selected province. The Project encourages stakeholders in the private sectors (i.e. entrepreneurs networks, universities, research institutions) to participate in the working group on WEE as members. The action plans of working groups on WEE are developed and integrated into the WCCC annual plans and provincial development plans. (Planning of the pilot projects in tourism industries) 3-2. The PDWA and partner provincial departments conduct policy analysis and gender analysis based on the steps of PGM Methods (from step1 to step4) through PGM Method workshops facilitated by MOWA/PDWA. 3-3. The PDWA and partner provincial departments conduct gender-responsive value chain analysis on tourism industries based on the methodology developed in 2-2 through PGM Method workshop facilitated by MOWA/PDWA. Information collection and analysis about marketing are also conducted for the pilot projects, including exploring and utilizing of the local resources. 3-4. The PDWA and partner provincial departments develop plans for pilot projects on tourism industries through PGM Methods workshop (step5) facilitated by MOWA/PDWA. 3-5. The gender-responsive socio-economic baseline survey, including information collection about the gender issues, is conducted about the target industries and areas of the pilot projects decided in 3-4. The results of the survey are compiled to a report.
--	--

hy he

(Implementation and monitoring of the pilot projects on tourism industries) 3-6. The PDWA and partner provincial departments implement activities in respective sector based on the plans developed in 3-4. 3-7. The pilot project activities are monitored based on the monitoring guidelines developed in 2-7 by PDWA and partner provincial departments. The results of the monitoring are periodically shared for coordinating pilot project activities and discussing about the possible solutions at the meetings of the working group on WEE. The results of the meetings of the working groups on WEE are also shared in the monthly meetings of WCCC. 3-8. The Project implements gender-responsive marketing activities in tourism industries and develops and refines hands-on tools for marketing in tourism industries targeting stakeholders at the grassroots levels. (Feedback of the evaluation result of pilot projects) 3-9. The PDWA and partner provincial departments conduct evaluation study on the pilot projects, including gender impact analysis based on the baseline data collected in 3-5 through PGM Methods workshop facilitated by MOWA/PDWA. The Project compiles the results of the evaluation study as end-line survey. 3-10. The PDWA and partner provincial departments develop policy recommendations based on the results of the evaluation study conducted in 3-9 through PGM Methods workshop facilitated by MOWA/PDWA. 3-11. The partner provincial departments share the policy recommendations developed in 3-10 with WCCC and TWG-G Sub-group on WEE and propose them to be integrated into their policies and plans. The MOWA/PDWA provide them with necessary information about resource mobilization and gender budgeting.	
--	--

[Handwritten signature]

Project Design Matrix (PDM)

Version: 1.0

Project Title: Project on Gender Mainstreaming for Women's Economic Empowerment (PGM-WEE)

Duration: 5 years (February 2017 - February 2022)

Project Area: Phnom Penh and 5 selected provinces (Kampong Chhnang, Kampong Tom, Siem Reap, Tbong Khmum and Kampong Cham)

Target Group: Ministry of Women's Affairs (MOWA) and Provincial Department of Women's Affairs (PDWA)

Gender Mainstreaming Action Group (GMAG) and Gender Focal Points (both the national and the sub-national levels) of the following Partner Line Ministries:

Ministry of Planning (MOP), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), Ministry of Industry and Handicraft (MOIH), Ministry of Commerce (MOC),

Ministry of Rural Development (MORD), Ministry of Labor and Vocational Training (MOLVT), Ministry of Tourism (MOT)

Beneficiary: Women and men in the target provinces

	Narrative Summary	Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	Women's Economic Empowerment (WEE) is promoted through gender-responsive programs and projects implemented at the sub-national level by line ministries/provincial departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA <u>in target and non-target provinces.</u>	<u>1. Gender-responsive programs and projects are planned and implemented for promoting WEE based on the updated WEE Guideline and the PGM Method Guideline*1 in target and non-target provinces.</u> <u>2. WCCC meeting is functioning as a platform for PDWA and line provincial departments to discuss and monitor gender-responsive programs and projects for promoting WEE in non-target provinces.</u> <u>3. All the partner line ministries and NCDD integrate at least 1 recommendation into their sector policies/plans or NCDD Gender Policy/plan and implement gender-responsive programs and projects for promoting WEE at the sub-national level.</u>	1-1. Annual reports of WCCC 1-2. Provincial Development/Investment Plan <u>2. Minutes of meetings and reports of WCCC</u> <u>3. Sector policies and plans and NCDD Gender Policy/plan</u>	

Project Purpose	Gender mainstreaming mechanisms are strengthened*2 to promote Women's Economic Empowerment (WEE) at the sub-national levels by the partner line ministries/provincial departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA.	<u>1. MOWA/PDWA advocates and coordinates with line ministries and partner provincial departments for planning and implementing gender-responsive programs and projects.</u> <u>2. WCCC meeting is functioning as a platform for PDWA and line provincial departments to discuss and monitor gender-responsive programs and projects for promoting WEE in all target provinces.</u> <u>3. The updated WEE Guideline is approved by MOWA</u> <u>4. Partner line ministries and NCDD gender team integrate at least 1 implementation tool or recommendation for promoting WEE into their projects and activities.</u>	<u>1. Annual plan and project documents of the partner provincial departments</u> <u>2. Minutes of meetings and reports of WCCC</u> <u>3. Approved updated WEE Guideline</u> <u>4. Sector plans/annual plans/action plans of partner line ministries and for NCDD Gender Policy</u>	Decentralization and deconcentration process is continuously gender-responsive.
------------------------	--	---	---	--

Output	1. The capacity of MOWA/PDWA in terms of advocacy and coordination is strengthened to promote WEE at the sub-national level.	1. Capacity of the counterparts of MOWA/PDWA in advocacy and coordination which will be defined in the Gender Capacity Assessment is strengthened	1. Result of Gender Capacity Assessment 2. Minutes of meetings and reports of TWG-G WEE/GMAG 3. Minutes of meetings and reports of WEE-WG/WCCC	GMAG members at the national and sub-national levels cooperate and participate in the project activities.
	2. Through the pilot activities, implementation mechanism and tools for promoting WEE are verified with its effectiveness by MOWA/PDWA and partner line ministries and provincial departments.	2-1. Implementing tools for promoting WEE at the sub-national level are acquired by the counterparts of MOWA/PDWA and the partner provincial departments. 2-2. Role of WEE-WG in the Project is institutionalized and included in the updated WEE Guideline.* ³	1-1. Records of trainings/workshops 1-2. Minutes of meetings and reports of WCCC 2. Updated WEE Guideline	
	3. Recommendations (tips and lessons learned) to implement/formulate gender-responsive policies are acknowledged by the partner line ministries and provincial departments and NCDD gender team through the active discussions with MOWA/PDWA.	3. Recommendations (tips and lessons learned) are acknowledged by the partner line ministries, NCDD gender team and partner provincial departments.	1. Minutes of meetings and reports of TWG-G WEE/GMAG/NCDD gender team 2. Minutes of meetings and reports of WCCC	

Activity	1-1. <u>Gender capacity assessment is conducted.</u> 1-2. <u>According to the results of the assessment, "capacity development plan on WEE" is prepared.</u> 1-3. <u>A series of workshops and trainings for strengthening MOWA/PDWA's advocacy and coordination capacities for promoting WEE are planned and conducted.</u> 1-4. "Gender terminology booklet" is updated. 1-5. "Gender statistics leaflet" is updated.	
	1-6. "Provincial gender statistics" are developed in each target province. 1-7. "Gender responsive value chain analysis method" is developed at the planning stage of the pilot activities at the sub-national level and compiled in the updated WEE guideline. 1-8. <u>Technical advices on gender responsive monitoring and evaluation (policy-based) are provided (only for the relevant parts to WEE) to partner line ministries and partner provincial departments by MOWA/PDWA through pilot activities at sub-national level.</u> 1-9. <u>Trainings on gender mainstreaming and WEE are conducted in Japan.</u> 1-10. <u>Terminal gender capacity assessment is conducted.</u>	
	【Planning, implementation and monitoring of the activities for promoting WEE (pilot activities) at sub-national level】 2-1. In KPC, chicken raising activities supported by PGM2 are monitored and followed up. 2-2. In KCH, PDWA and partner provincial departments plan, implement and monitor the activities for promoting WEE on agriculture/chicken raising (as pilot activities) as well as share the outputs and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG. 2-3. In SRP, PDWA and partner provincial departments plan, implement and monitor the activities for promoting WEE in tourism sector (as pilot activities) as well as share the outputs and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG.	

Activity	<u>【Integration of gender perspectives in the existing programs and projects at the sub-national level】</u> 2-4. In TBK and KPT, PDWA and partner provincial departments integrate gender perspectives in the existing programs and projects to support rural women and women's groups in agriculture and handicraft sectors (economic activities) and share the outputs, learnings and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG. 2-5. In KPC and KCH, PDWA and partner provincial departments analyze circumstances surrounding rural women and women's groups in agriculture sector, identify their needs, and examine effective measures for supporting women to be involved more actively in economic activities as well as share the outputs and learnings in the WEE-WG.	
	2-6. In SRP, PDWA and partner PDs analyze circumstances surrounding rural women and women's groups in tourism sector, identify their needs, and examine effective measures for supporting women to be involved more actively in economic activities as well as share the outputs and learnings in the WEE-WG. <u>【Consideration on effective measures for promoting WEE and active women's participation in economic activities】</u> 2-7. Based on the Activities 2-2~2-6, institutionalized implementation mechanism and implementation tools for promoting WEE at the sub-national level are compiled in the updated WEE Guideline.	
	3-1. In coordination and collaboration with MOWA, project activities are integrated in the action plan for Neary Rattanak V and NCDD Gender Policy. 3-2. Through the TWG-G WEE/GMAG meetings, MOWA shares the progress, outputs, experiences, findings, lessons learned, etc. which are extracted from the project activities with line ministries, and advocates for promoting WEE at the sub-national level. 3-3. The recommendations for promoting WEE at the sub-national level are discussed and compiled by MOWA counterparts. 3-4. The compiled recommendations are shared in the TWG-G WEE/ GMAG meetings.	
	3-5. Active discussion and coordination are made with the partner line ministries and NCDD gender team (consisting of gender equality department of MOWA and NCDD) for integrating the shared recommendations into the sector plans/annual plans/action plans of the partner line ministries and for the NCDD Gender Policy. 3-6. An experience (output) sharing workshop for widely sharing the approved recommendations (in Activity 3-4) and updated WEE guideline (developed in Activity 2-7) in collaboration with the MOWA counterparts as well as the outputs and lessons learnt of the project activities with line ministries. 3-7. A regional seminar is held for sharing the achievements, outcomes, best practices and lessons learned from the project activities as well as exchanging the experiences among the ASEAN countries.	

^{*1} PGM Method Guideline is the guideline for gender-responsive sector policy formulation developed in October 2007 and revised in August 2015 by MOWA and JICA.

^{*2} "Strengthening of gender mainstreaming mechanism" is defined as the following three elements: 1) adequate advocacy and coordination capacity of officials of MOWA/PDWA, 2) Implementing mechanism and tools for policy implementation on WEE at sub-national level, and 3) recommendations for formulating and implementing gender-responsive policies for promoting WEE.

^{*3} The functions and roles of WEE-WG defined in the updated WEE Guideline will be integrated into those of Women's and Children's Consultative Committee (WCCC) through consultative process with the concerned parties.

Project Design Matrix (PDM)

Version: 2.0

Project Title: Project on Gender Mainstreaming for Women's Economic Empowerment (PGM-WEE)

Duration: 5 years and 10 months (February 2017 - December 2022)

Project Area: Phnom Penh and 5 selected provinces (Kampong Chhnang, Kampong Tom, Siem Reap, Tbong Khmum and Kampong Cham)

Target Group: Ministry of Women's Affairs (MOWA) and Provincial Department of Women's Affairs (PDWA)

Gender Mainstreaming Action Group (GMAG) and Gender Focal Points (both the national and the sub-national levels) of the following Partner Line Ministries:

Ministry of Planning (MOP), Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF), Ministry of Industry and Handicraft (MOIH), Ministry of Commerce (MOC),

Ministry of Rural Development (MORD), Ministry of Labor and Vocational Training (MOLVT), Ministry of Tourism (MOT)

Beneficiary: Women and men in the target provinces

	Narrative Summary	Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal	Women's Economic Empowerment (WEE) is promoted through gender-responsive programs and projects implemented at the sub-national level by line ministries/provincial departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA in target and non-target provinces.	1. Gender-responsive programs and projects are planned and implemented for promoting WEE based on the updated WEE Guideline and the PGM Method Guideline*1 in target and non-target provinces. 2. WCCC meeting is functioning as a platform for PDWA and line provincial departments to discuss and monitor gender-responsive programs and projects for promoting WEE in non-target provinces. 3. All the partner line ministries and NCDD integrate at least 1 recommendation into their sector policies/plans or NCDD Gender Policy/plan and implement gender-responsive programs and projects for promoting WEE at the sub-national level.	1-1. Annual reports of WCCC 1-2. Provincial Development/Investment Plan 2. Minutes of meetings and reports of WCCC 3. Sector policies and plans and NCDD Gender Policy/plan	
Project Purpose	Gender mainstreaming mechanisms are strengthened*2 to promote Women's Economic Empowerment (WEE) at the sub-national levels by the partner line ministries/provincial departments through advocacy and coordination by MOWA/PDWA.	1. MOWA/PDWA advocates and coordinates with line ministries and partner provincial departments for planning and implementing gender-responsive programs and projects. 2. WCCC meeting is functioning as a platform for PDWA and line provincial departments to discuss and monitor gender-responsive programs and projects for promoting WEE in all target provinces. 3. The updated WEE Guideline is approved by MOWA 4. Partner line ministries and NCDD gender team integrate at least 1 implementation tool or recommendation for promoting WEE into their projects and activities.	1. Annual plan and project documents of the partner provincial departments 2. Minutes of meetings and reports of WCCC 3. Approved updated WEE Guideline 4. Sector plans/annual plans/action plans of partner line ministries and for NCDD Gender Policy	Decentralization and deconcentration process is continuously gender-responsive.

Output	1. The capacity of MOWA/PDWA in terms of advocacy and coordination is strengthened to promote WEE at the sub-national level.	1. Capacity of the counterparts of MOWA/PDWA in advocacy and coordination which will be defined in the Gender Capacity Assessment is strengthened	1. Result of Gender Capacity Assessment 2. Minutes of meetings and reports of TWG-G WEE/GMAG 3. Minutes of meetings and reports of WEE-WG/WCCC	GMAG members at the national and sub-national levels cooperate and participate in the project activities.
	2. Through the pilot activities, implementation mechanism and tools for promoting WEE are verified with its effectiveness by MOWA/PDWA and partner line ministries and provincial departments.	2-1. Implementing tools for promoting WEE at the sub-national level are acquired by the counterparts of MOWA/PDWA and the partner provincial departments. 2-2. Role of WEE-WG in the Project is institutionalized and included in the updated WEE Guideline. ³	1-1. Records of trainings/workshops 1-2. Minutes of meetings and reports of WCCC 2. Updated WEE Guideline	
	3. Recommendations (tips and lessons learned) to implement/formulate gender-responsive policies are acknowledged by the partner line ministries and provincial departments and NCDD gender team through the active discussions with MOWA/PDWA.	3. Recommendations (tips and lessons learned) are acknowledged by the partner line ministries, NCDD gender team and partner provincial departments.	1. Minutes of meetings and reports of TWG-G WEE/GMAG/NCDD gender team 2. Minutes of meetings and reports of WCCC	
Activity	1-1. Gender capacity assessment is conducted. 1-2. According to the results of the assessment, "capacity development plan on WEE" is prepared. 1-3. A series of workshops and trainings for strengthening MOWA/PDWA's advocacy and coordination capacities for promoting WEE are planned and conducted. 1-4. "Gender terminology booklet" is updated. 1-5. "Gender statistics leaflet" is updated. 1-6. "Provincial gender statistics" are developed in each target province. 1-7. "Gender responsive value chain analysis method" is developed at the planning stage of the pilot activities at the sub-national level and compiled in the updated WEE guideline. 1-8. Basic concept of gender responsive monitoring and evaluation (policy-based) are provided (only for the relevant parts to WEE) to partner line ministries and partner provincial departments by MOWA/PDWA. 1-9. Terminal gender capacity assessment is conducted. 【Planning, implementation and monitoring of the activities for promoting WEE (pilot activities) at sub-national level】 2-1. In KPC, chicken raising activities supported by PGM2 are monitored and followed up. 2-2. In KCH, PDWA and partner provincial departments plan, implement and monitor the activities for promoting WEE on agriculture/chicken raising (as pilot activities) as well as share the outputs and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG. 2-3. In SRP, PDWA and partner provincial departments plan, implement and monitor the activities for promoting WEE in tourism sector (as pilot activities) as well as share the outputs and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG.			

Activity	【Integration of gender perspectives in the existing programs and projects at the sub-national level】 2-4. In TBK and KPT, PDWA and partner provincial departments integrate gender perspectives in the existing programs and projects to support rural women and women's groups in agriculture and handicraft sectors (economic activities) and share the outputs, learnings and experiences extracted from the pilot activities in the WEE-WG. 2-5. In KPC and KCH, PDWA and partner provincial departments analyze circumstances surrounding rural women and women's groups in agriculture sector, identify their needs, and examine effective measures for supporting women to be involved more actively in economic activities as well as share the outputs and learnings in the WEE-WG.	
	2-6. In SRP, PDWA and partner PDs analyze circumstances surrounding rural women and women's groups in tourism sector, identify their needs, and examine effective measures for supporting women to be involved more actively in economic activities as well as share the outputs and learnings in the WEE-WG. 【Consideration on effective measures for promoting WEE and active women's participation in economic activities】 2-7. Based on the Activities 2-2~2-6, institutionalized implementation mechanism and implementation tools for promoting WEE at the sub-national level are compiled in the updated WEE Guideline.	
	3-1. In coordination and collaboration with MOWA, project activities are integrated in the action plan for Neary Rattanak V and NCDD Gender Policy. 3-2. Through the TWG-G WEE/GMAG meetings, MOWA shares the progress, outputs, experiences, findings, lessons learned, etc. which are extracted from the project activities with line ministries, and advocates for promoting WEE at the sub-national level. 3-3. The recommendations for promoting WEE at the sub-national level are discussed and compiled by MOWA counterparts. 3-4. The compiled recommendations are shared in the TWG-G WEE/ GMAG meetings.	
	3-5. Active discussion and coordination are made with the partner line ministries and NCDD gender team (consisting of gender equality department of MOWA and NCDD) for integrating the shared recommendations into the sector plans/annual plans/action plans of the partner line ministries and for the NCDD Gender Policy. 3-6. An experience (output) sharing workshop for widely sharing the approved recommendations (in Activity 3-4) and updated WEE guideline (developed in Activity 2-7) in collaboration with the MOWA counterparts as well as the outputs and lessons learnt of the project activities with line ministries. 3-7. A regional seminar is held for sharing the achievements, outcomes, best practices and lessons learned from the project activities as well as exchanging the experiences among the ASEAN countries.	

^{*1} PGM Method Guideline is the guideline for gender-responsive sector policy formulation developed in October 2007 and revised in August 2015 by MOWA and JICA.

^{*2} "Strengthening of gender mainstreaming mechanism" is defined as the following three elements: 1) adequate advocacy and coordination capacity of officials of MOWA/PDWA, 2) Implementing mechanism and tools for policy implementation on WEE at sub-national level, and 3) recommendations for formulating and implementing gender-responsive policies for promoting WEE.

^{*3} The functions and roles of WEE-WG defined in the updated WEE Guideline will be integrated into those of Women's and Children's Consultative Committee (WCCC) through consultative process with the concerned parties.